

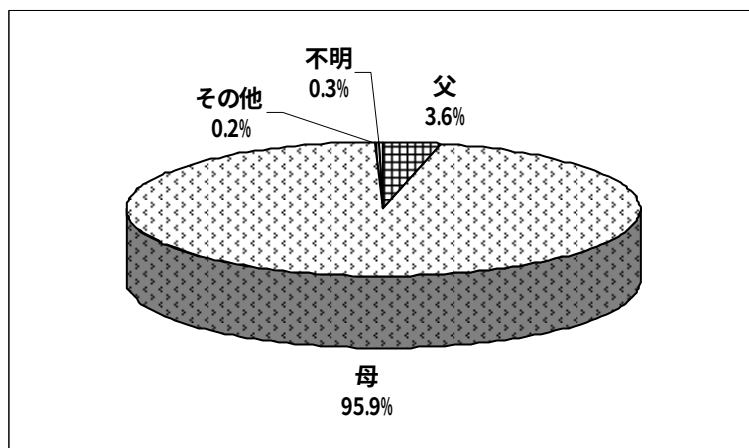
第3章 幼年期

1. 回答者の属性

(1) 回答者

回答者は、「父」が3.6%、「母」が95.9%、「その他」が0.2%となっています。

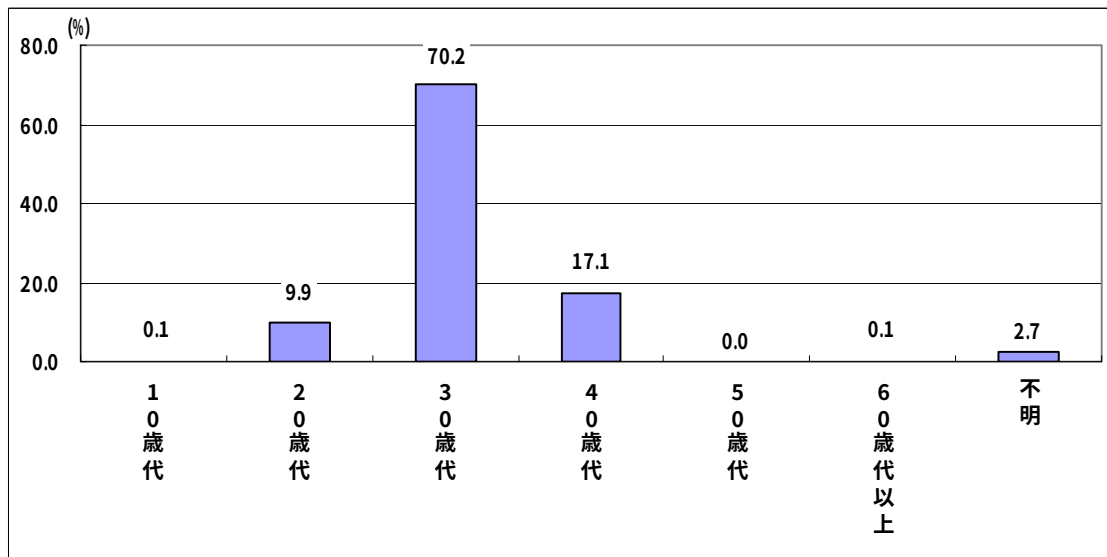
図表 13 回答者の属性 [N=1,125]



(2) 回答者の年齢

回答者の年齢は、「30 歳代」が70.2%と最も多く、次いで、「40 歳代」が17.1%、「20 歳代」が9.9%となっています。

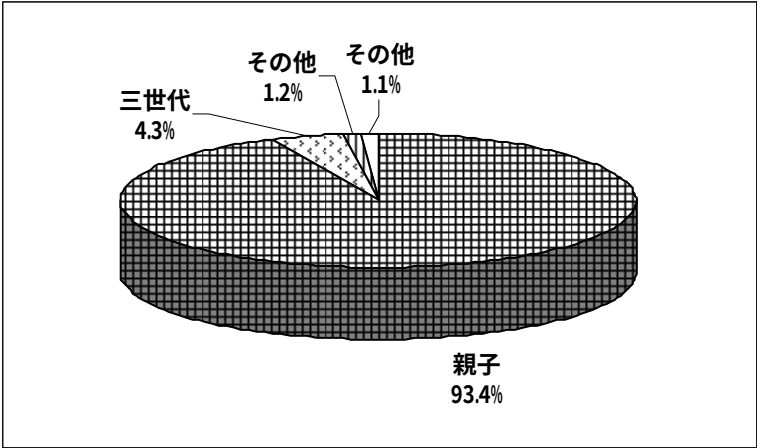
図表 14 回答者の年齢 [N=1,125]



(3) 家族構成

家族構成については、「親子」が 93.4%と圧倒的に多く、「三世代」の世帯は 4.3% となっています。

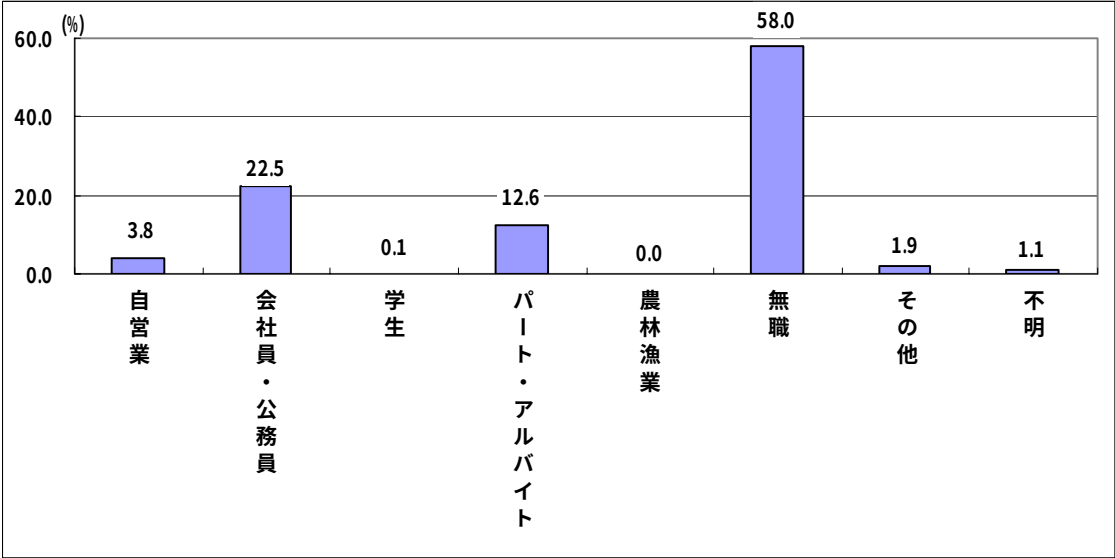
図表 15 家族構成 [N=1,125]



(4) 回答者の職業

回答者の職業については、「無職」の割合が 58.0%と最も多く、次いで、「会社員・公務員」が 22.5%、「パート・アルバイト」が 12.6%となっています。

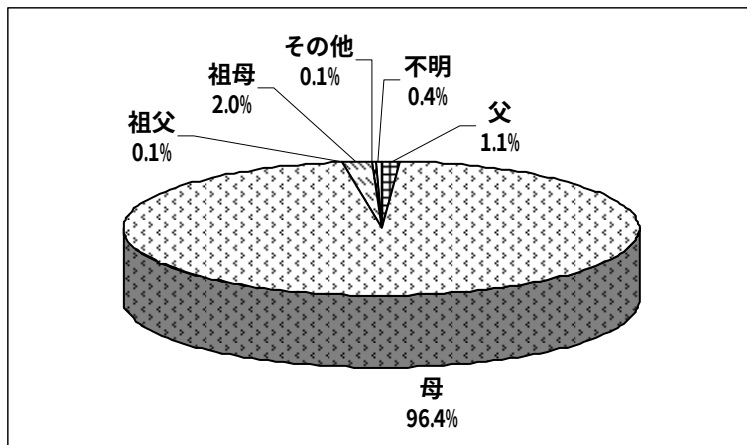
図表 16 回答者の職業 [N=1,125]



(5) 主に家庭で食事づくりを担当する人

主に家庭で食事づくりを担当する人についてきいたところ、「母」が96.4%と最も多く、次いで、「祖母」が2.0%、「父」が1.1%となっています。

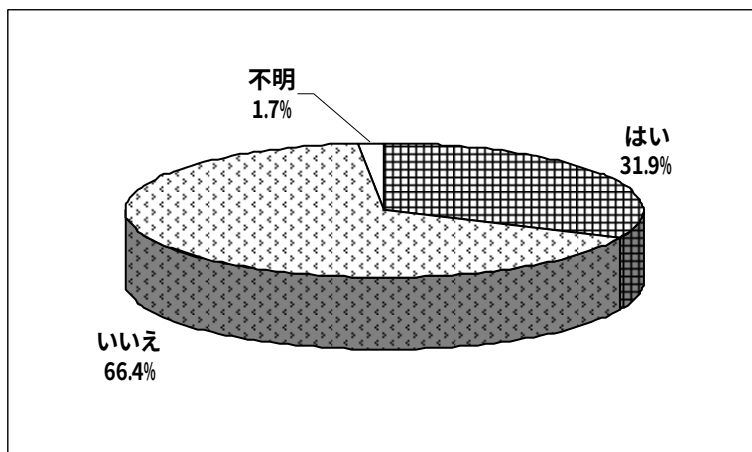
図表 17 主に家庭で食事づくりを担当する人 [N=1,125]



(6) 主に食事づくりを担当する人の就労状況

主に食事づくりを担当する人の就労状況については、「はい（就労している）」が31.9%、「いいえ（就労していない）」が66.4%となっており、就労していない人が多くなっています。

図表 18 主に食事づくりを担当する人の就労状況 [N=1,125]



(7) 主に食事づくりを担当する人の就労形態

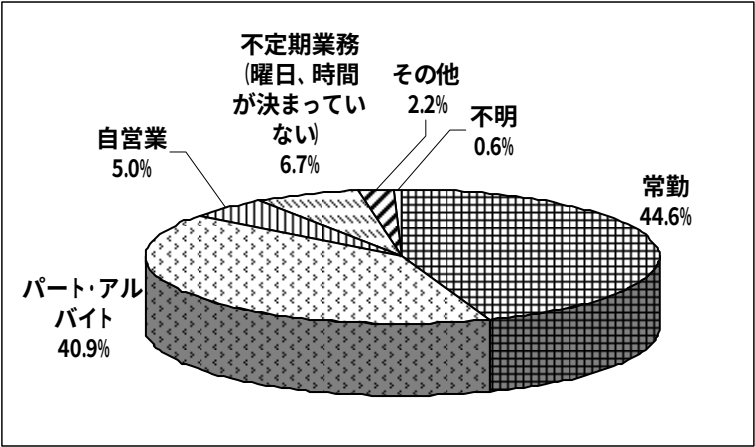
主に食事づくりを担当する人のうち、就労している場合の就労形態についてきいたところ、「常勤」が44.6%、「パート・アルバイト」が40.9%、「自営業」が5.0%となっています。

また、「常勤」で働く人の1日あたり勤務時間については、「8時間以上10時間未満」が59.4%と最も多く、次いで、「6時間以上8時間未満」が34.4%と多くなっています。

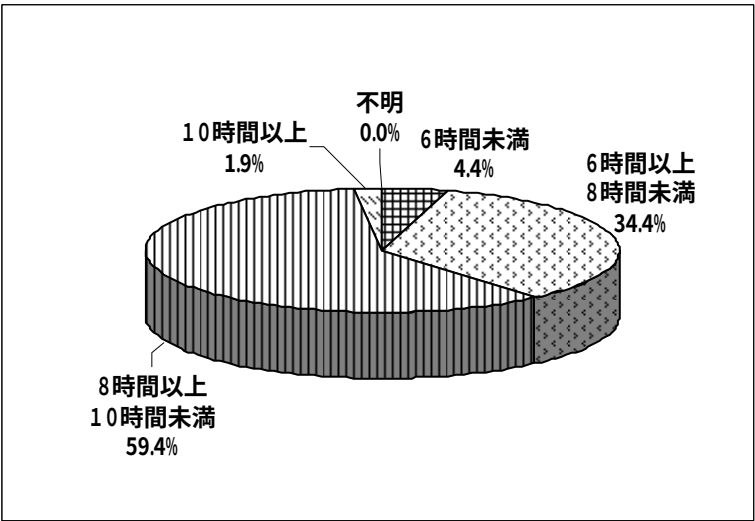
「パート・アルバイト」で働く人の1週間あたり勤務日数については、「3、4日」が53.1%を占め、次いで、「5日以上」という人が36.1%となっています。「パート・アルバイト」で働く人の1日あたり勤務時間は、「4時間以上6時間未満」と「6時間以上8時間未満」がそれぞれ4割程度を占めています。

一方、「自営業」で働く人の1日あたり勤務時間は「8時間以上」が6割と多くなっています。

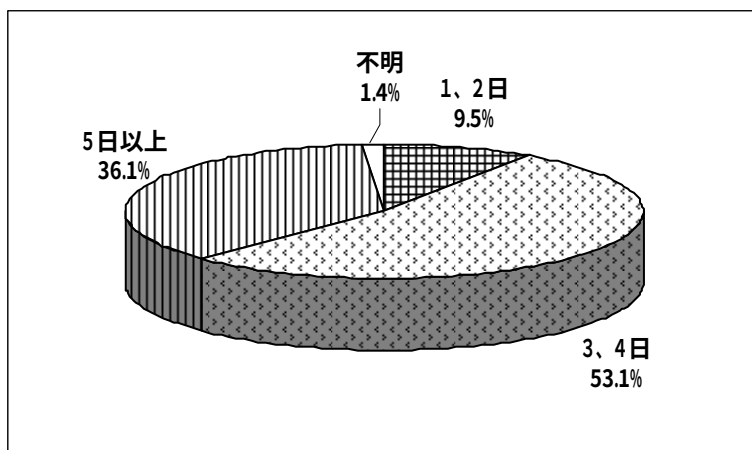
図表 19 主に食事づくりを担当する人の就労形態 [N=359]



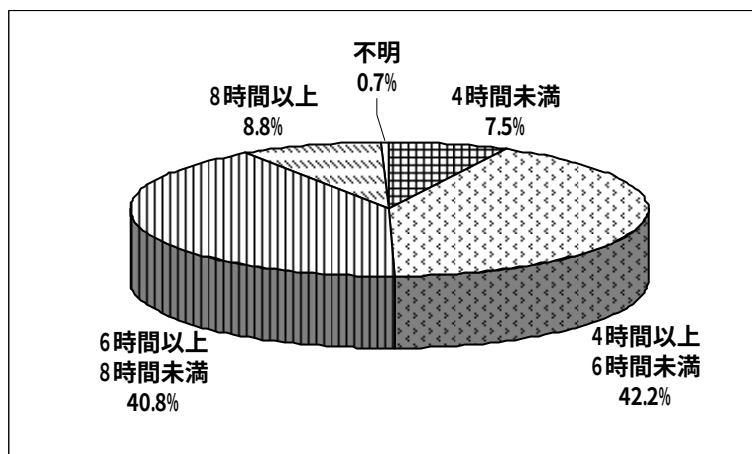
図表 20 常勤で働く人の1日あたり勤務時間 [N=160]



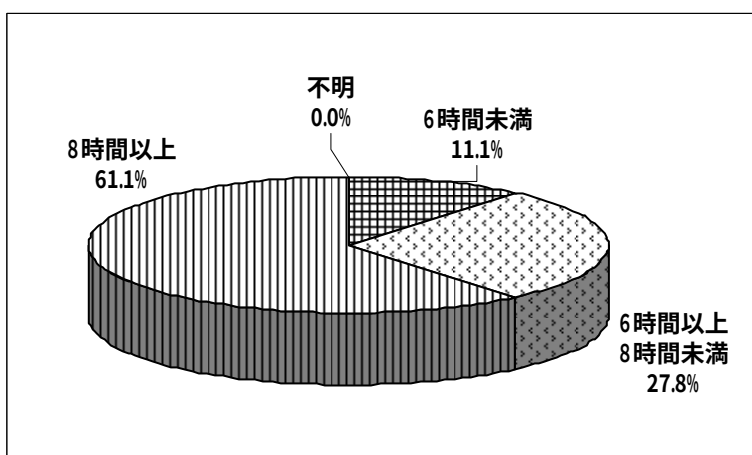
図表 21 パート・アルバイトで働く人の1週あたり勤務日数 [N=147]



図表 22 パート・アルバイトで働く人の1日あたり勤務時間 [N=147]



図表 23 自営業で働く人の1日あたり勤務時間 [N=18]

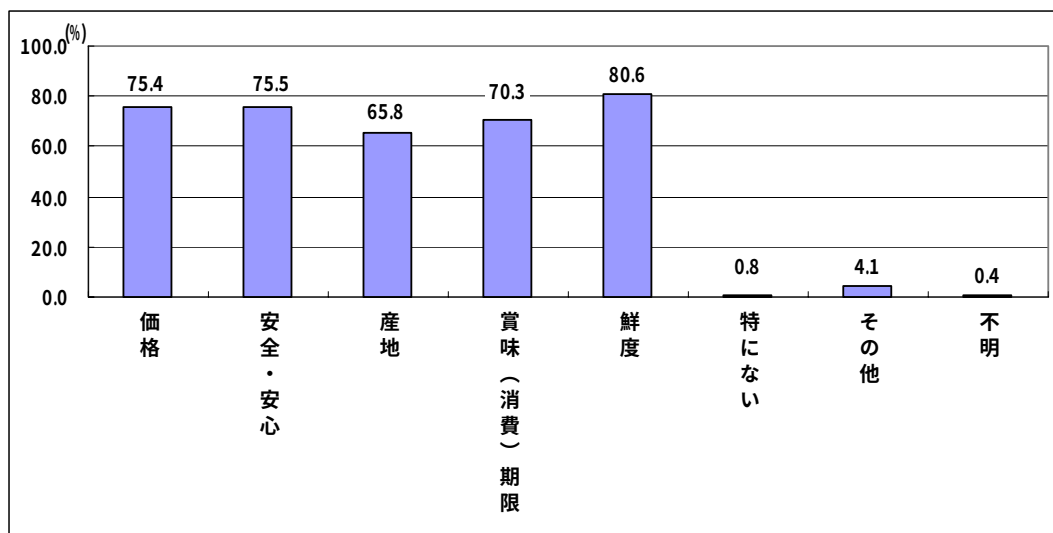


2. ふだんの食生活や子どもの食事について

(1) 食材選定基準

食材の選定基準についてきいたところ、「鮮度」が80.6%と最も多く、次いで「安全・安心」が75.5%、「価格」が75.4%、「賞味（消費）期限」が70.3%、「産地」が65.8%と続いています。

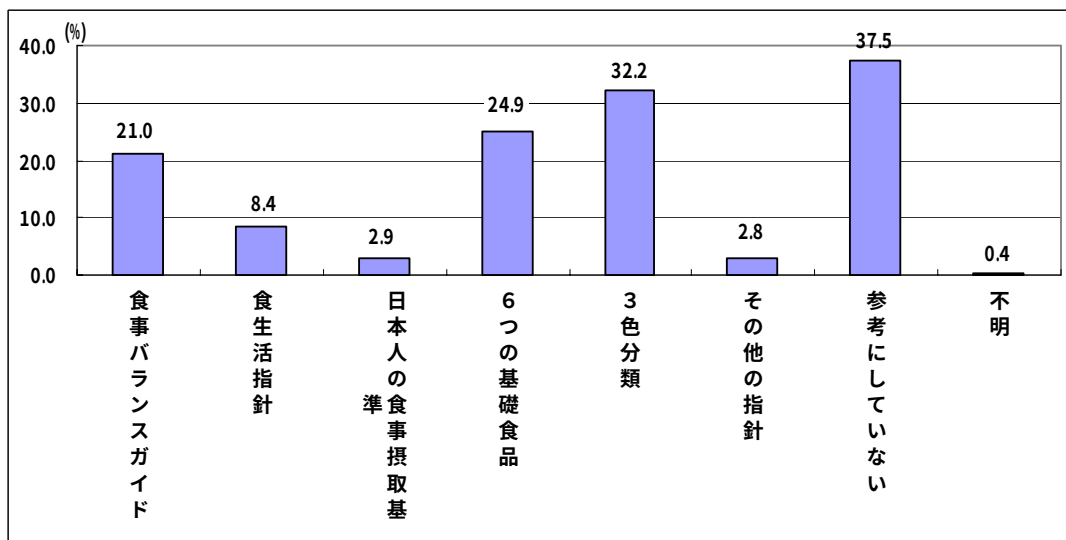
図表 24 食材選定基準 [N=1,125]（複数回答）



(2) 参考とする指針

日頃の健全な食生活を実践するために参考とする指針については、何らかの指針を参考にしている人は62.1%となっており、そのうち「3色分類」が32.2%と最も多く、次いで「6つの基礎食品」が24.9%、「食事バランスガイド」が21.0%となっています。一方、「参考にしていない」人は37.5%となっています。

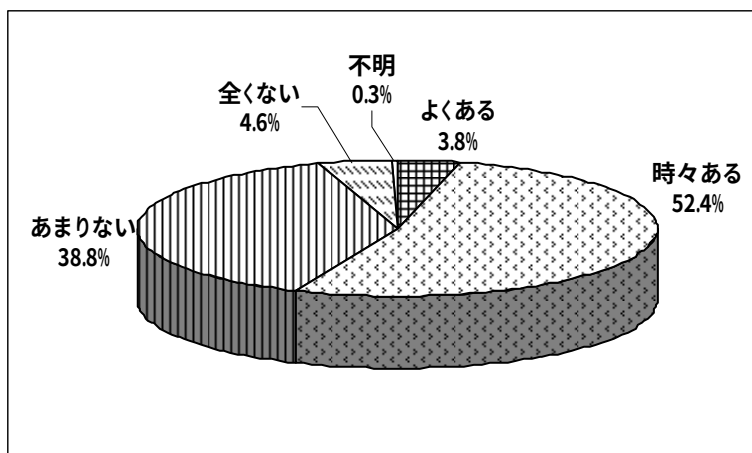
図表 25 参考とする指針 [N=1,125]（複数回答）



(3) 直接廃棄頻度

食べ物を直接廃棄する頻度については、「よくある」、「時々ある」と頻度が高い人が56.2%、「あまりない」、「全くない」と頻度が低い人が43.4%となっています。

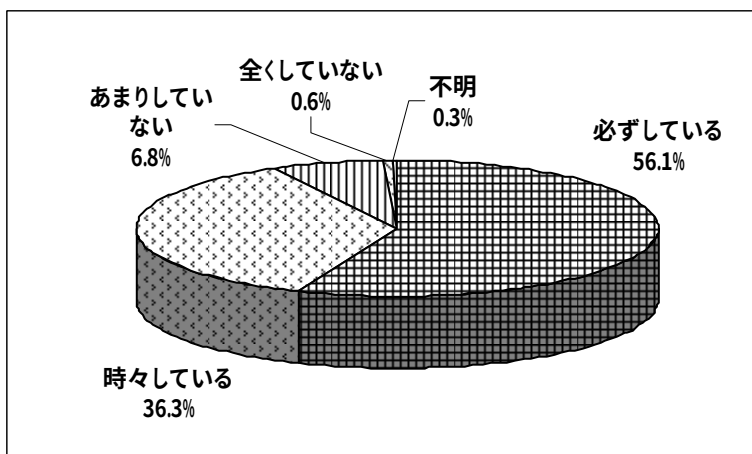
図表 26 直接廃棄頻度 [N=1,125]



(4) 食べ残しを減らす努力

食べ残しを減らす努力についてきいたところ、「必ずしている」が56.1%と最も多く、「時々している」が36.3%と、大半が食べ残しを減らす努力をしています。一方で、「あまりしていない」が6.8%、「全くしていない」が0.6%と、あまり努力をしていない人が7.4%います。

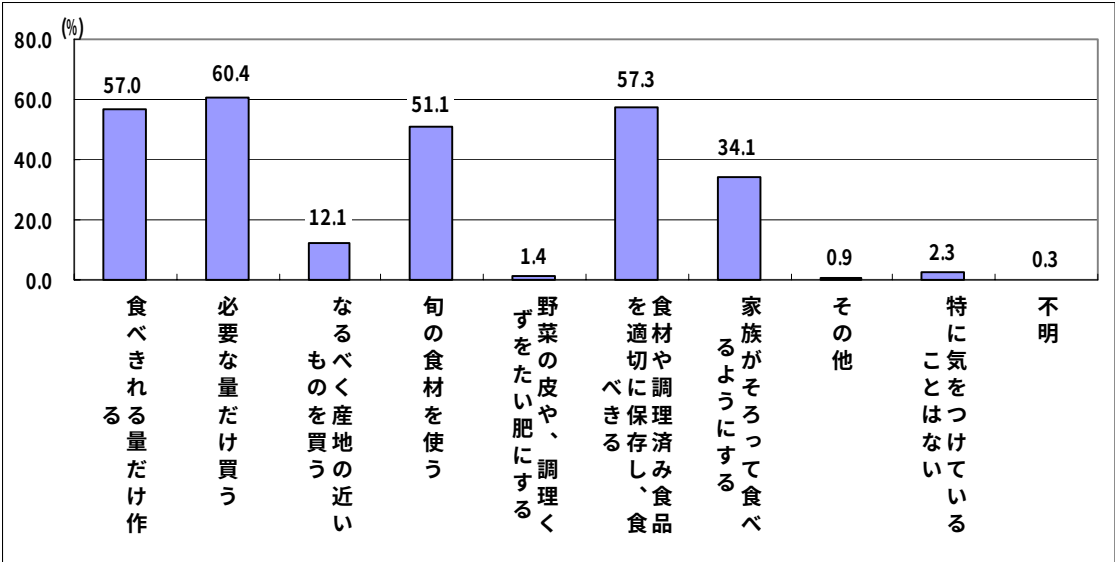
図表 27 食べ残しを減らす努力 [N=1,125]



(5) 環境への配慮

食生活で環境に配慮していることについてきいたところ、「必要な量だけ買う」という回答が 60.4%と最も多く、次いで、「食材や調理済み食品を適切に保存し、食べきる」が 57.3%、「食べきれぬ量だけ作る」が 57.0%、「旬の食材を使う」が 51.1%と続いています。

図表 28 環境への配慮 [N=1,125] (複数回答)

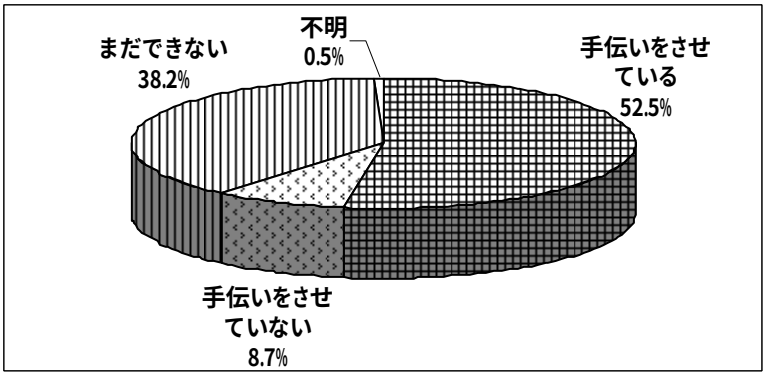


(6) 食事の手伝い

お子さんに食事の手伝いをさせているか否かについてきいたところ、「手伝いをさせている」が 52.5%、「手伝いをさせていない」が 8.7%、「まだできない」が 38.2%となっています。

子どもの年齢別にみると、2歳以降では、「手伝いをさせている」割合が一段と高くなっています。しかし、1歳でも「手伝いをさせている」という家庭も 14.6%みられます。

図表 29 食事の手伝いをさせているか [N=1,125]



図表 30 子どもの年齢×食事の手伝いをさせているか [N=1,125]

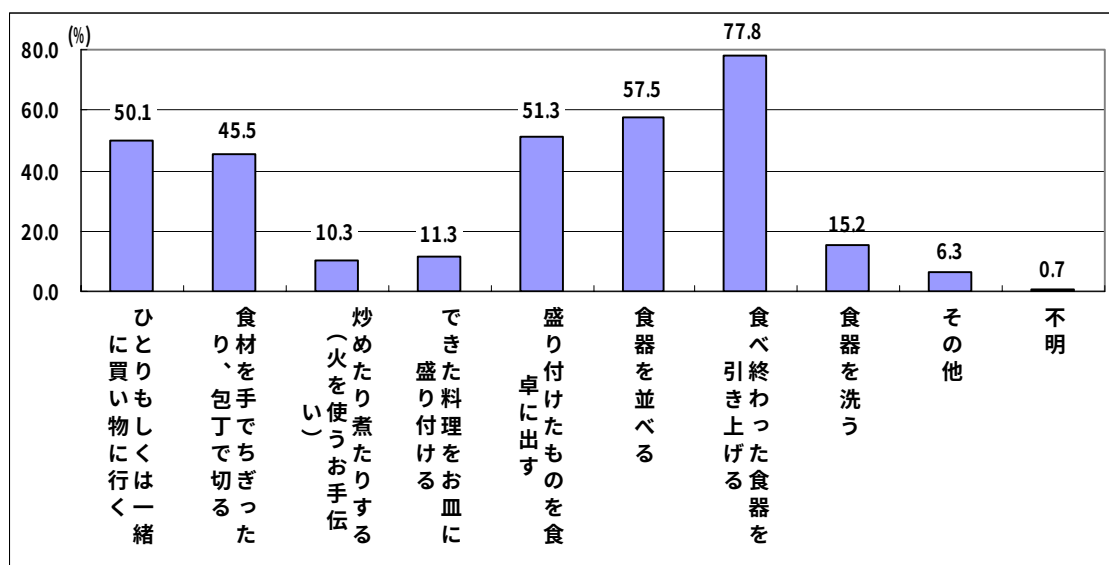
[単位：(上段) 件／(下段) %]

	合計	手伝いを させている	手伝いを させていない	まだできない	不明
合計	1,125	591	98	430	6
	100.0	52.5	8.7	38.2	0.5
0歳	145	9	5	130	1
	100.0	6.2	3.4	89.7	0.7
1歳	206	30	10	166	-
	100.0	14.6	4.9	80.6	-
2歳	182	88	14	80	-
	100.0	48.4	7.7	44.0	-
3歳	165	106	21	37	1
	100.0	64.2	12.7	22.4	0.6
4歳	190	155	21	12	2
	100.0	81.6	11.1	6.3	1.1
5歳	198	171	24	3	-
	100.0	86.4	12.1	1.5	-
6歳	31	28	3	-	-
	100.0	90.3	9.7	-	-
不明	8	4	-	2	2
	100.0	50.0	-	25.0	25.0

(7) 手伝いの内容

具体的な手伝いの内容については「食べ終わった食器を引き上げる」が77.8%と最も多く、次いで、「食器を並べる」が57.5%、「盛り付けたものを食卓に出す」が51.3%、「ひとりもしくは一緒に買い物に行く」が50.1%、「食材を手でちぎったり包丁で切る」が45.5%となっています。

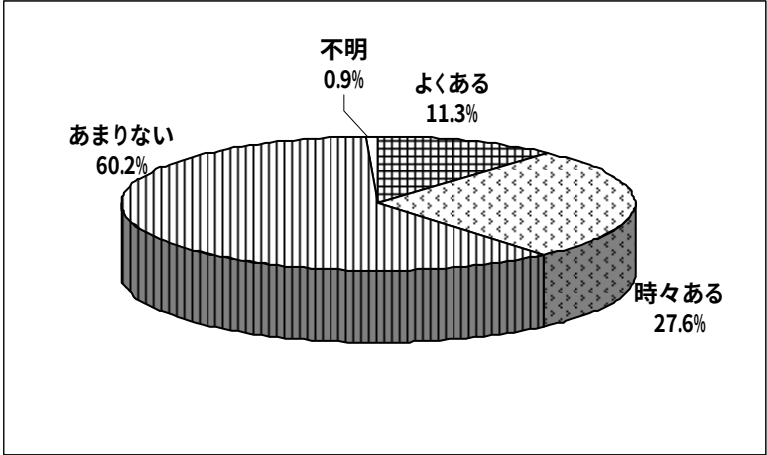
図表 31 手伝いの内容 [N=591] (複数回答)



(8) 別メニューの食事

家庭と一緒に食事をする人が別メニューの食事をとることがあるか否かについてきいたところ、「あまりない」という回答が最も多く 60.2%となっています。一方、「よくある」、「時々ある」とする人が 38.9%みられます。

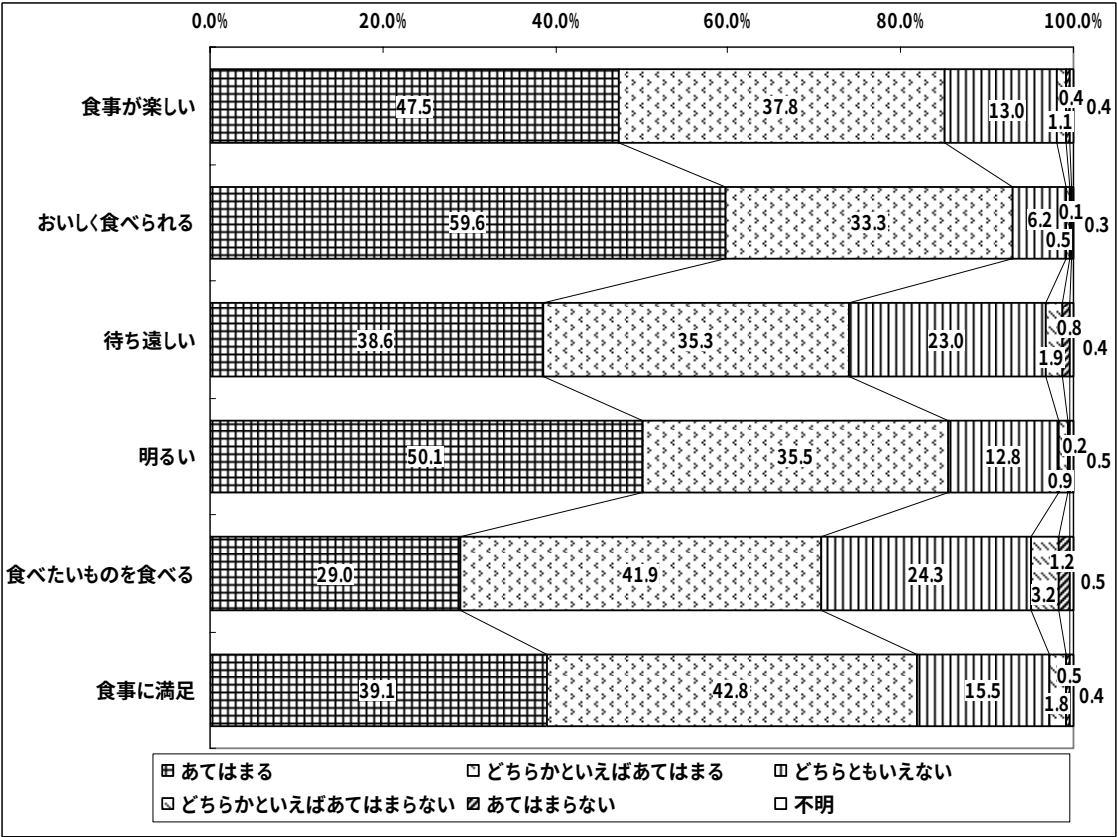
図表 32 別メニューの食事を食べることがあるか [N=1,125]



(9) 家庭での食生活の様子

家庭での食生活についてきいたところ、どの項目も「あてはまる」・「どちらかといえばあてはまる」を含めた回答の割合が 8 割前後を占めています。

図表 33 家庭での食生活の様子 [N=1,125]

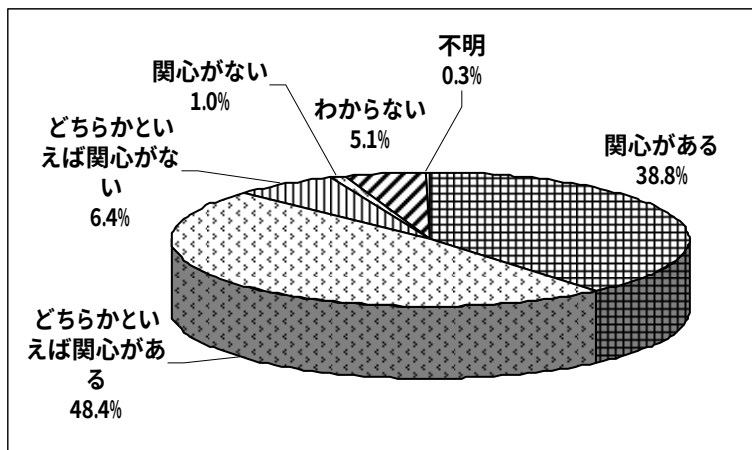


3. 食育について

(1) 「食育」への関心

「食育」への関心については、「関心がある」が38.8%、「どちらかといえば関心がある」が48.4%と関心がある傾向の人が87.2%と大半を占めており、「どちらかといえば関心がない」が6.4%、「関心がない」が1.0%と関心がない傾向の人が7.4%となっています。

図表 34 「食育」に関心があるか [N=1,125]

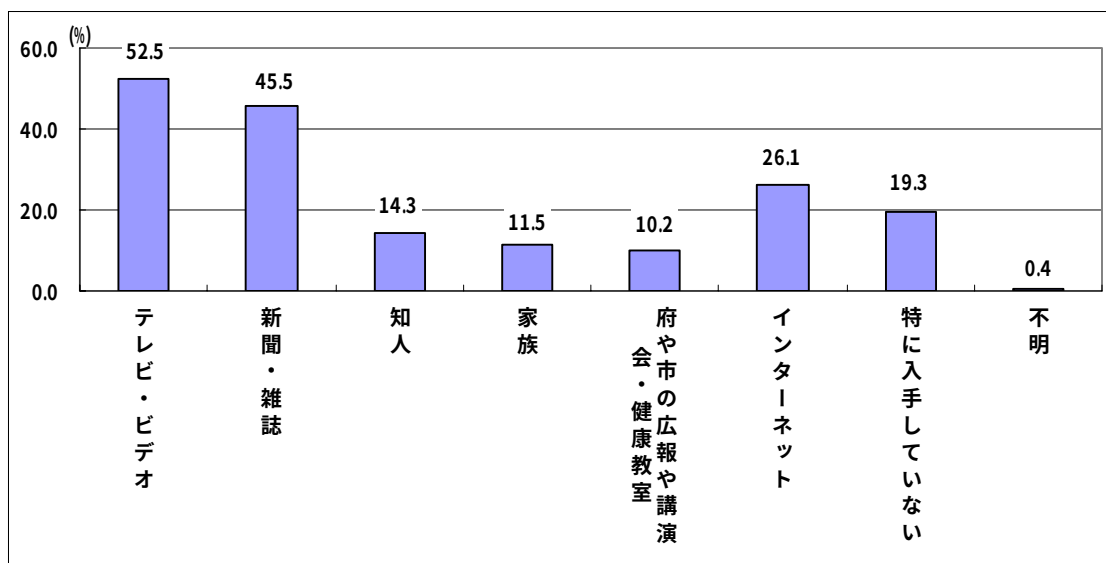


(2) 食育に関する情報の入手先

食育に関する情報の入手先についてきいたところ、「テレビ・ビデオ」が52.5%と最も多く、次いで、「新聞・雑誌」が45.5%、「インターネット」が26.1%となっています。一方、で、「特に入手していない」という回答も19.3%みられます。

保護者（回答者）の年齢別にみると、40歳代では、他の世代と比べ、「新聞・雑誌」を情報源としている割合がより多くなっています。

図表 35 食育に関する情報の入手先 [N=1,125]（複数回答）



第3章 幼年期

図表 36 保護者（回答者）の年齢×食育に関する情報の入手先 [N=1,125]（複数回答）

[単位：（上段）件／（下段）％]

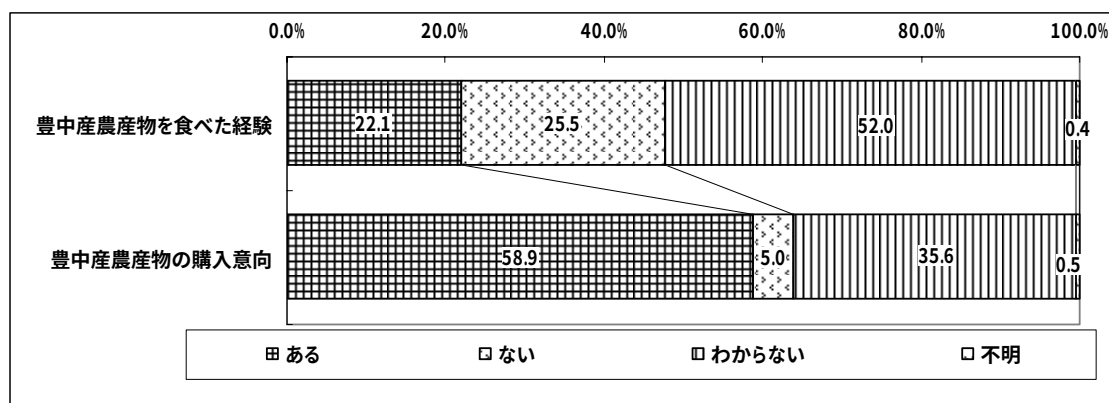
	合計	テレビ・ビデオ	新聞・雑誌	知人	家族	講演会・健康教室 府や市の広報や	インターネット	特に 入手していない	不明
合計	1,125 100.0	591 52.5	512 45.5	161 14.3	129 11.5	115 10.2	294 26.1	217 19.3	5 0.4
10 歳代	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -
20 歳代	111 100.0	54 48.6	46 41.4	13 11.7	20 18.0	10 9.0	30 27.0	25 22.5	- -
30 歳代	790 100.0	427 54.1	353 44.7	121 15.3	89 11.3	80 10.1	207 26.2	149 18.9	2 0.3
40 歳代	192 100.0	101 52.6	103 53.6	24 12.5	14 7.3	22 11.5	45 23.4	35 18.2	2 1.0
50 歳代	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
60 歳代以上	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -
不明	30 100.0	9 30.0	10 33.3	3 10.0	6 20.0	3 10.0	11 36.7	7 23.3	1 3.3

（３） 豊中産農産物について

豊中産の農産物を食べた経験や購入意向についてきいたところ、「食べた経験」が「ある」という回答が 22.1%であるのに対し、「購入意向」が「ある」という回答は 58.9%とより多くなっています。

一方、豊中産の農産物を食べた経験については半数以上が「わからない」と回答しています。

図表 37 豊中産農産物について [N=1,125]

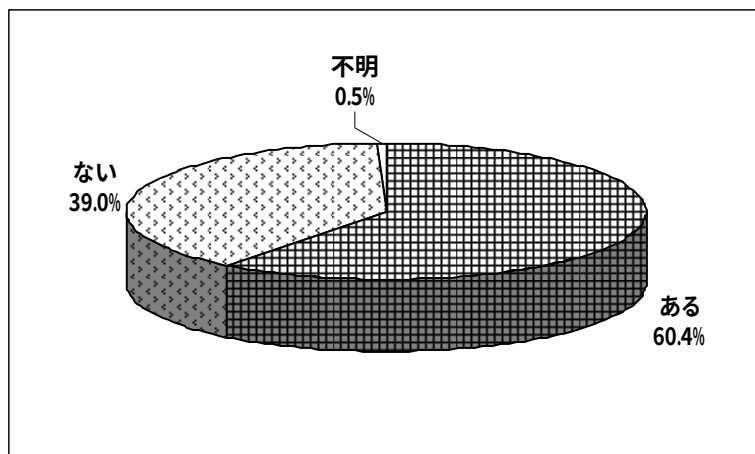


(4) 農体験への興味

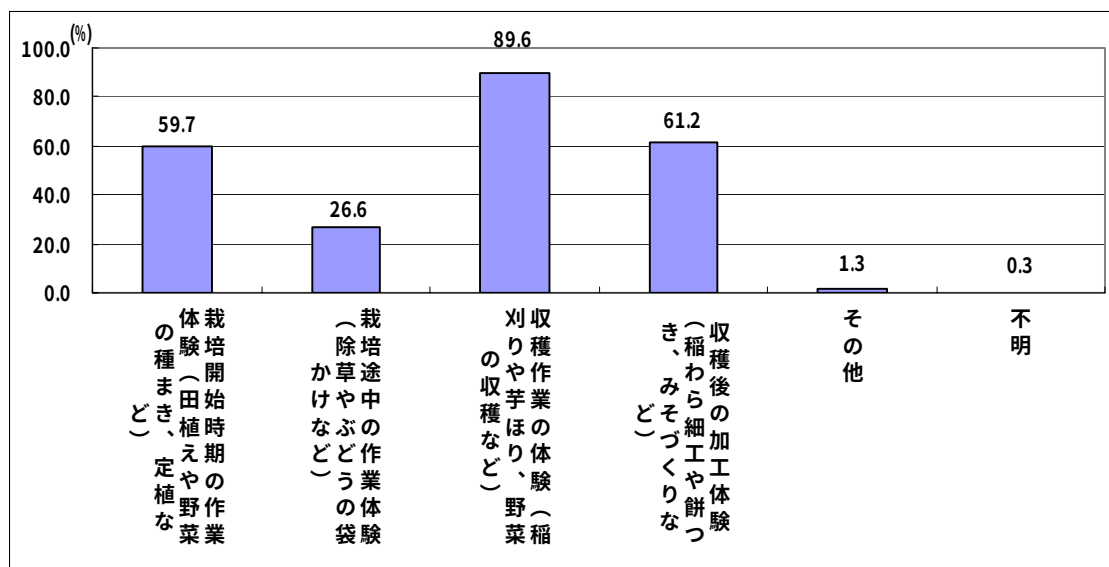
農体験への興味については、「ある」が60.4%、「ない」が39.0%となっています。

「ある」という回答のうち、体験してみたい農体験としては、「収穫作業の体験」が89.6%と最も多く、「収穫後の加工体験」が61.2%、「栽培開始時期の作業体験」が59.7%となっています。

図表 38 農体験への興味 [N=1,125]



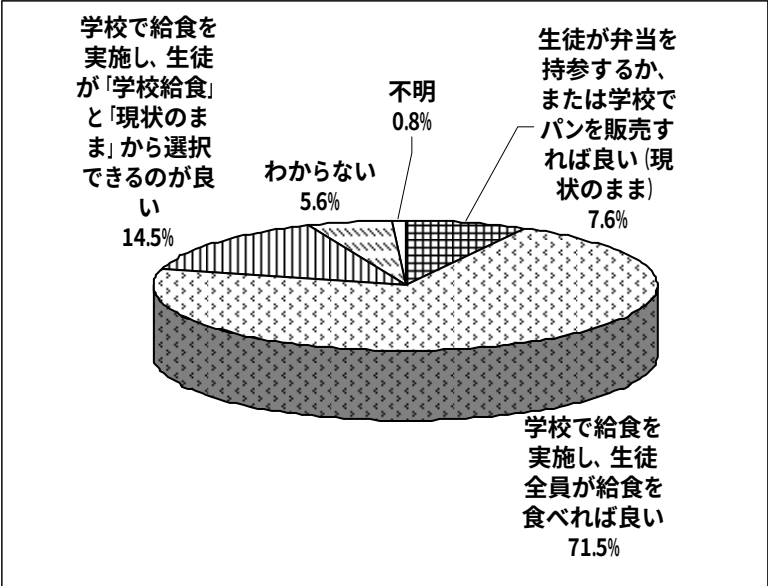
図表 39 体験してみたい農体験 [N=680] (複数回答)



(5) 中学校給食に関する食育の取組に対する考え

中学校給食に関する食育の取組に対する考えについてきいたところ、「学校で給食を実施し、生徒全員が給食を食べれば良い」という回答が 71.5%と最も多くなっており、次いで「学校で給食を実施し、生徒が『学校給食』と『現状のまま』から選択できるのが良い」が 14.5%となっています。

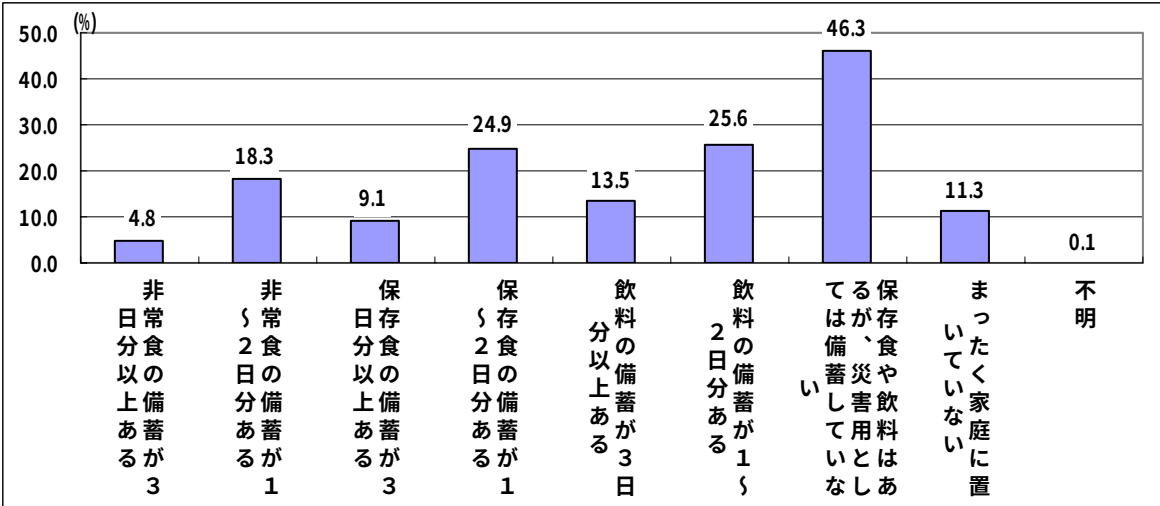
図表 40 中学校給食に関しての考え [N=1,125]



(6) 非常食・保存食・飲料の備蓄状況

非常食・保存食・飲料の備蓄については、「保存食や飲料はあるが、災害用としては備蓄していない」という回答が 46.3%と最も多くなっています。非常食については、「備蓄が1～2日分ある」という回答が 18.3%と多く、保存食については、「備蓄が1～2日分ある」という回答が 24.9%と多くなっています。一方、「まったく家庭に置いていない」という回答が 11.3%あります。

図表 41 非常食・保存食の備蓄状況 [N=1,125] (複数回答)



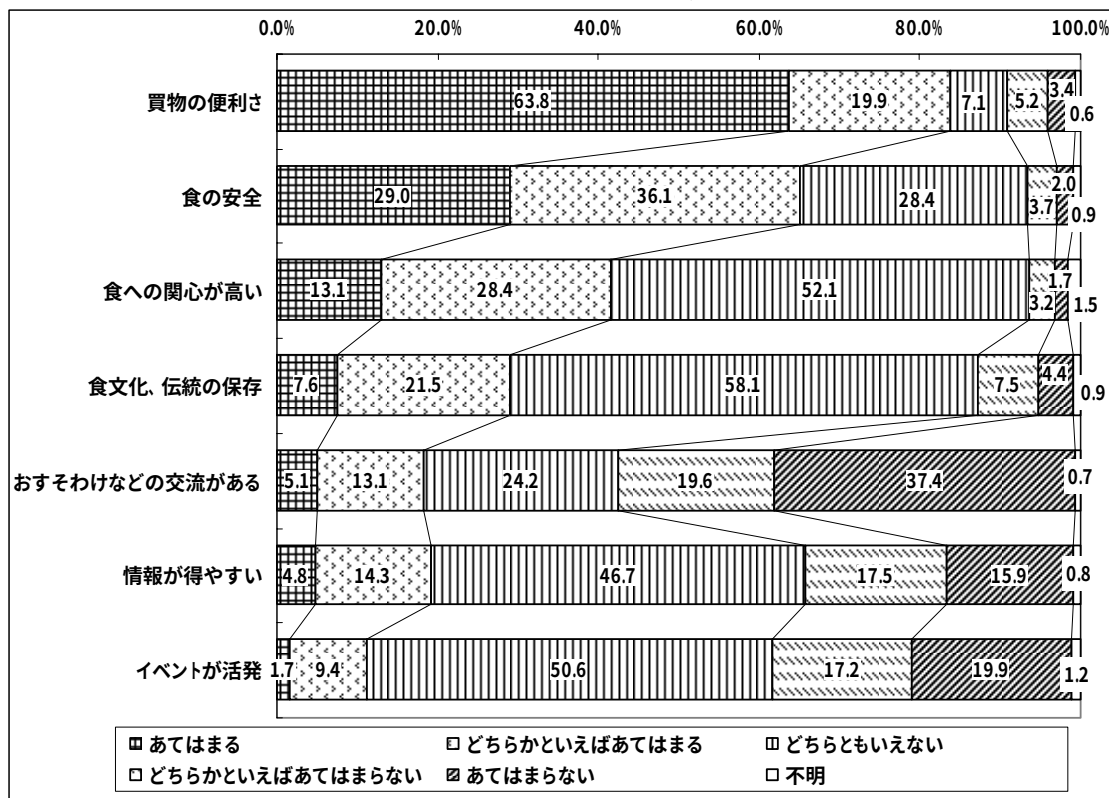
4. 豊中市食育推進計画について

(1) 地域の食環境

地域の食環境についてきいたところ、「買物の便利さ」や「食の安全」については概ね肯定的な評価が多くなっています。

一方、「おすそわけなどの交流がある」という項目については、「あてはまらない」が4割程度を占めています。

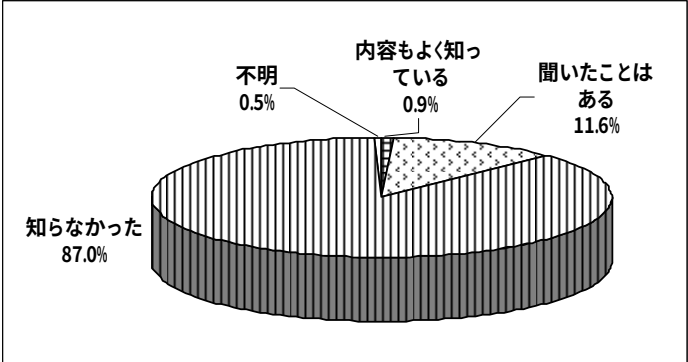
図表 42 地域の食環境 [N=1,125]



(2) 「豊中市食育推進計画」の認知度

「豊中市食育推進計画」の認知度については、「内容もよく知っている」が0.9%、「聞いたことはある」が11.6%と、「豊中市食育推進計画」を知っている人は12.5%となっています。一方、「知らなかった」という回答が87.0%となっています。

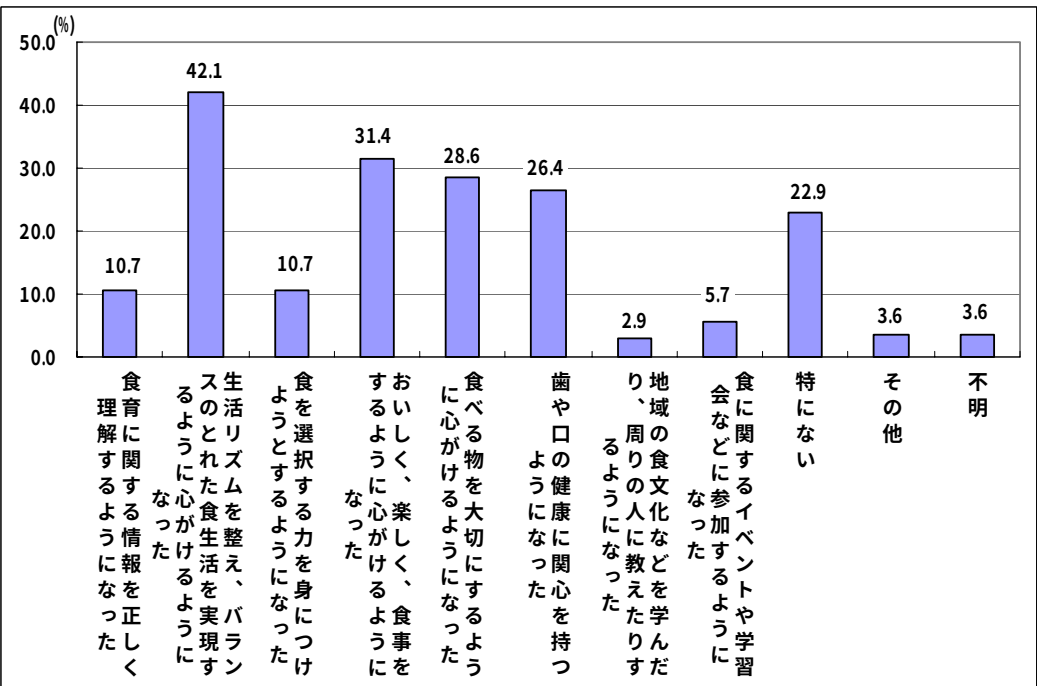
図表 43 「豊中市食育推進計画」の認知度 [N=1,125]



(3) 「豊中市食育推進計画」策定後の意識の変化

「豊中市食育推進計画」策定後の意識の変化についてきいたところ、「生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現するように心がけるようになった」という回答が42.1%と最も多くなっています。次いで、「おいしく、楽しく、食事をするように心がけるようになった」が31.4%、「食べる物を大切にするように心がけるようになった」が28.6%と続いています。一方、「特にない」という回答も22.9%あります。

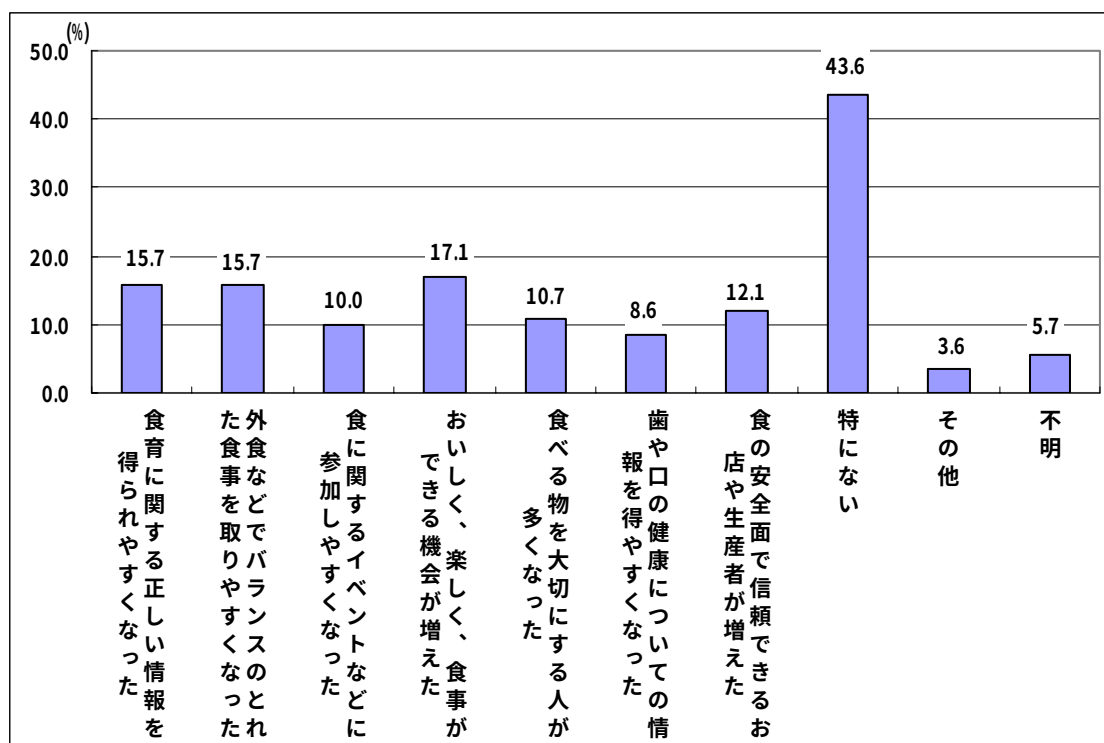
図表 44 「豊中市食育推進計画」策定後の意識の変化 [N=140] (複数回答)



(4) 「豊中市食育推進計画」策定後の環境の変化

「豊中市食育推進計画」策定後の食生活を取り巻く環境の変化については、変化があったとする人では「おいしく、楽しく、食事ができる機会が増えた」が17.1%と最も多く、次いで、「食育に関する正しい情報を得られやすくなった」と「外食などでバランスのとれた食事を取りやすくなった」が15.7%となっています。一方、「特にない」という回答が43.6%あります。

図表 45 「豊中市食育推進計画」策定後の環境の変化 [N=140] (複数回答)

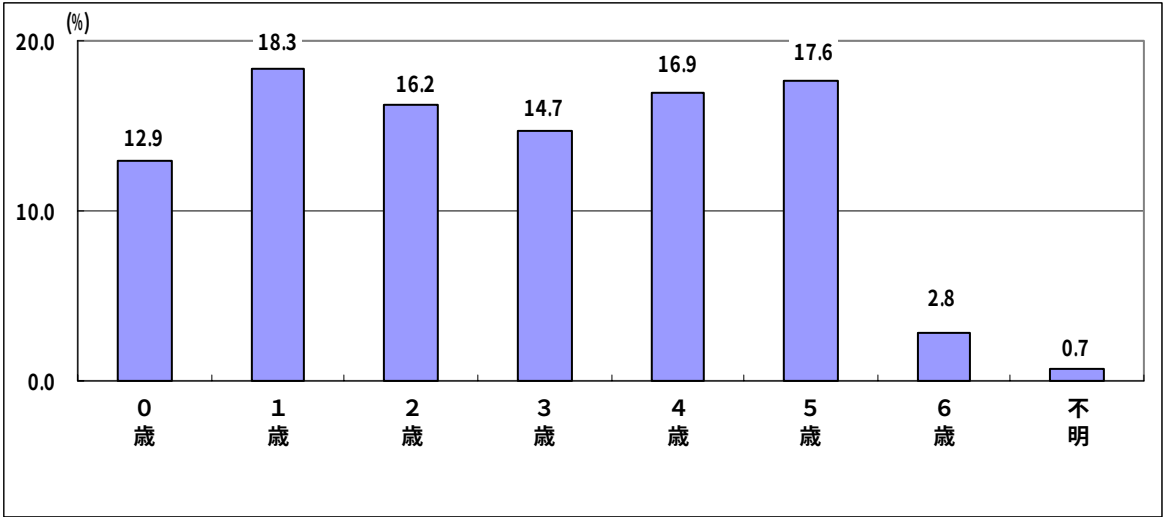


5. 子どもの属性

(1) 子どもの年齢

子どもの年齢については、「0歳」から「5歳」まで15%前後で分布しています。

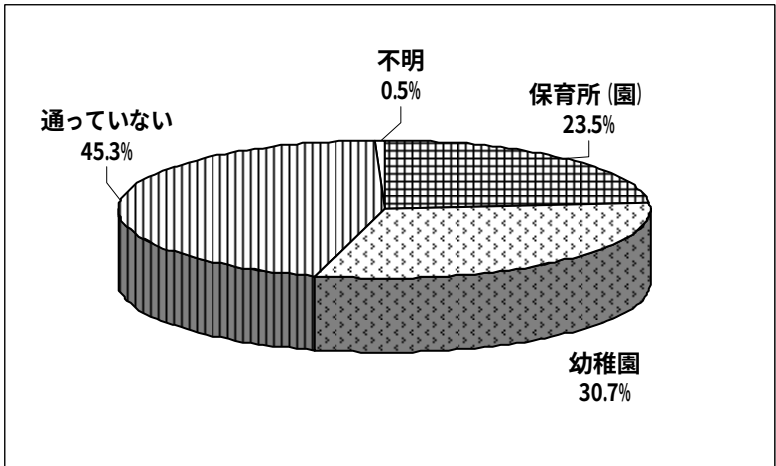
図表 46 子どもの年齢 [N=1,125]



(2) 保育所・幼稚園の通所通園状況

通所・通園の状況については、「通っていない」が45.3%と最も多く、次いで、「幼稚園」が30.7%、「保育所（園）」が23.5%となっています。

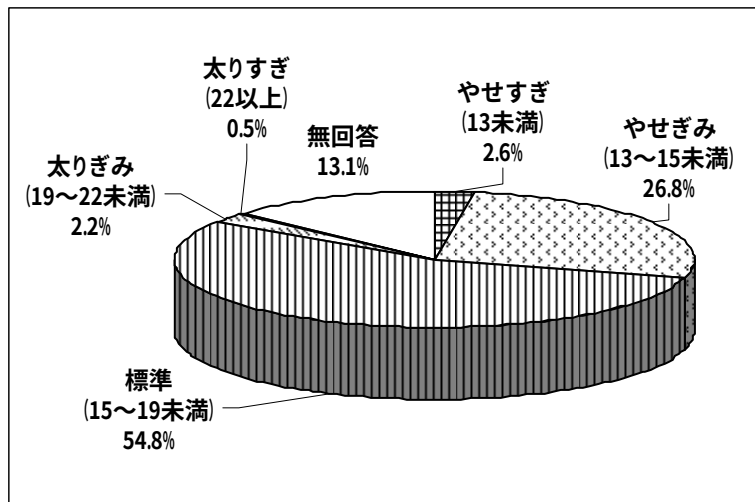
図表 47 保育所・幼稚園に通っているか [N=1,125]



(3) カウプ指数

カウプ指数については、「標準（15～19 未満）」が 54.8%と最も多く、「やせぎみ（13～15 未満）」が 26.8%と続いています。

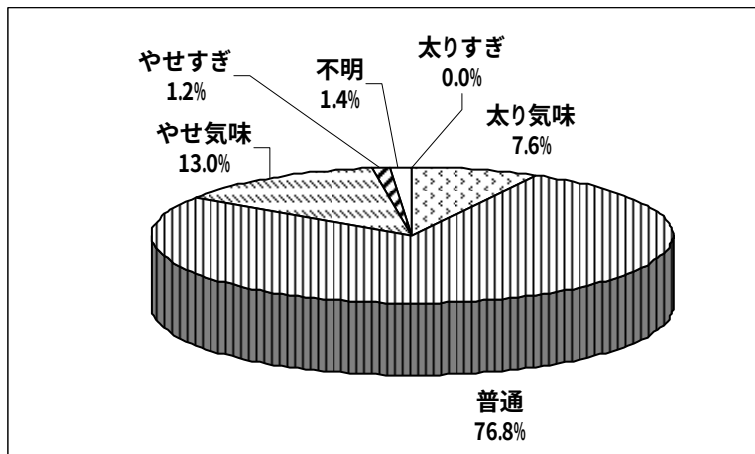
図表 48 カウプ指数 [N=1,125]



(4) 子どもの体型をどう思うか

子どもの体型をどう思うかについては、「普通」という回答が 76.8%と最も多く、次いで「やせ気味」が 13.0%、「太り気味」が 7.6%となっています。

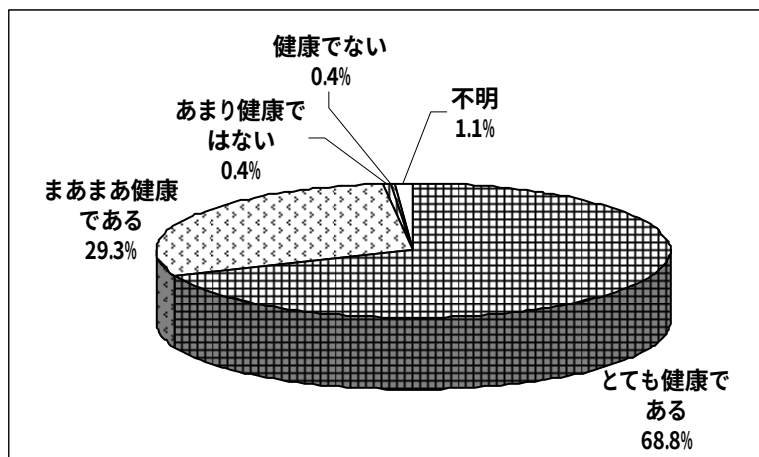
図表 49 子どもの体型をどう思うか [N=1,125]



(5) 子どもの健康状態

子どもの健康状態については、「とても健康である」、「まあまあ健康である」と良好な健康状態であるとする人が98.1%と多数を占めており、一方、「あまり健康でない」、「健康でない」とする人は0.8%となっています。

図表 50 子どもの健康状態をどう思うか [N=1,125]

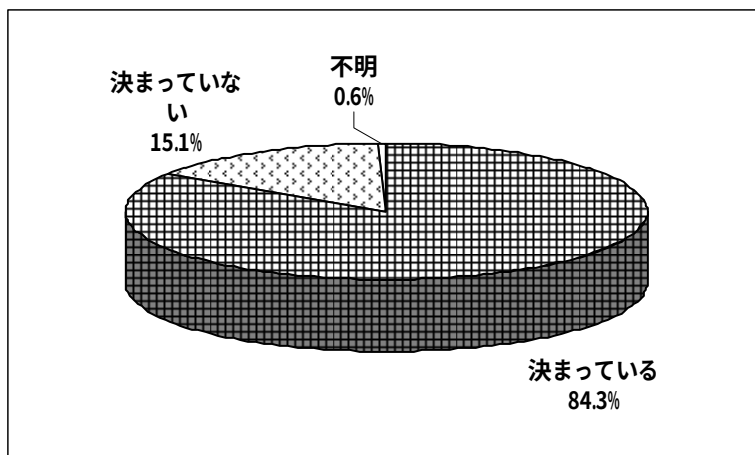


6. 子どもの生活リズムについて

(1) 起床時間と就寝時間

子どもの生活リズムについて、起床時間・就寝時間が「決まっている」という回答が84.3%となっており、「決まっていない」は15.1%となっています。

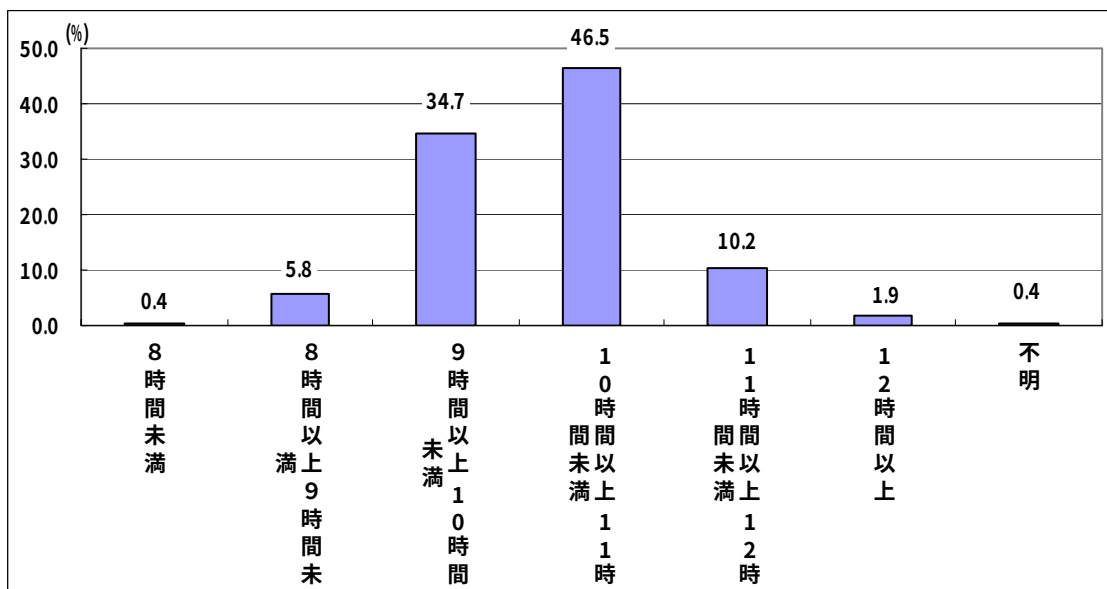
図表 51 起床時間と就寝時間 [N=1,125]



(2) 睡眠時間

子どもの睡眠時間についてみると、「10 時間以上 11 時間未満」が最も多く 46.5%、「9 時間以上 10 時間未満」が 34.7%と続いています。

図表 52 睡眠時間 [N=948]

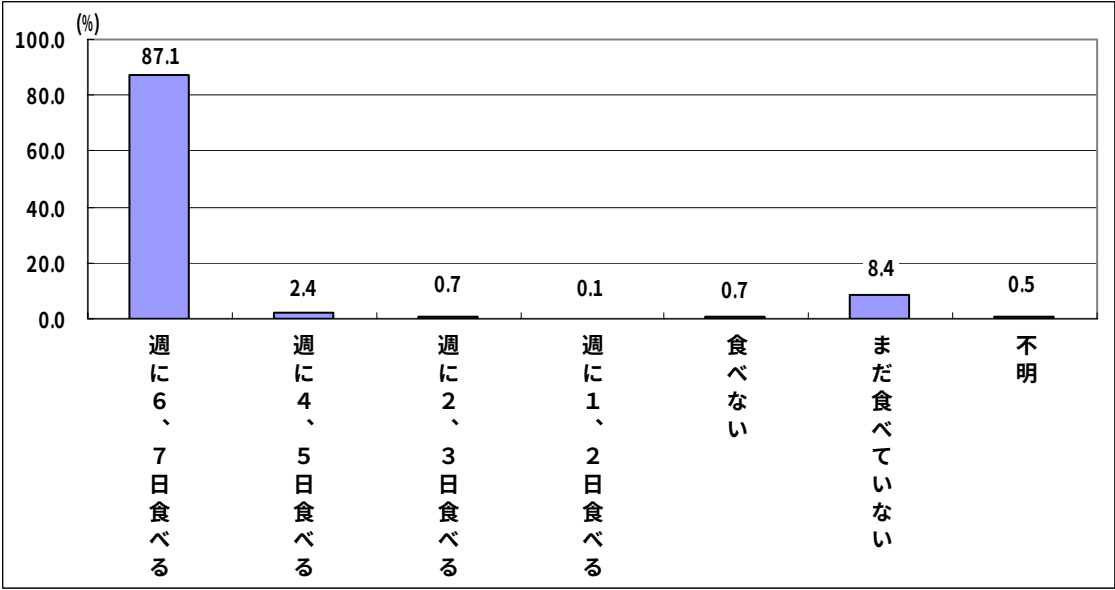


(3) 朝食の摂取状況

子どもの朝食の摂取状況について、「週に6、7日食べる」という回答が87.1%、次いで「まだ食べていない」が8.4%、「週に4、5食べる」が2.4%となっています。

就寝時間別にみると、「午後10時台」の人はそれ以前の人に比べて「週に6、7日食べる」人が少なくなっています。

図表 53 朝食の摂取状況 [N=1,125]



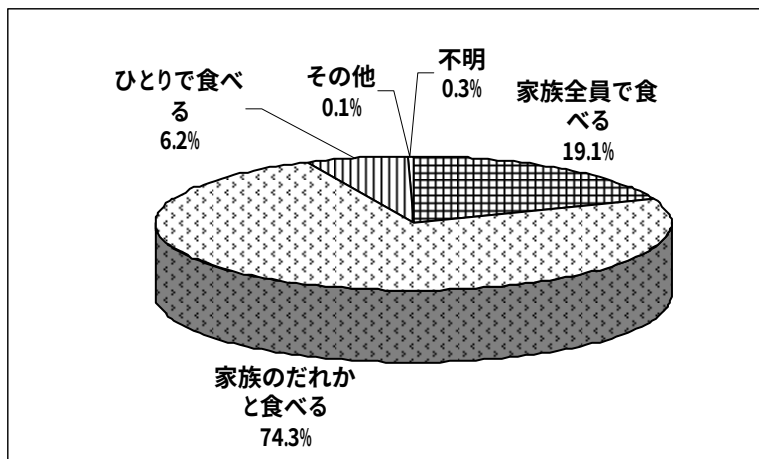
図表 54 就寝時間×朝食の摂取状況 [N=948]

[単位：(上段) 件／(下段) %]								
	合計	週に6、7日食べる	週に4、5日食べる	週に2、3日食べる	週に1、2日食べる	食べない	まだ食べていない	不明
合計	948	872	16	3	1	3	53	-
	100.0	92.0	1.7	0.3	0.1	0.3	5.6	-
午後8時より以前	30	24	-	-	-	-	6	-
	100.0	80.0	-	-	-	-	20.0	-
午後8時台	215	205	1	-	-	1	8	-
	100.0	95.3	0.5	-	-	0.5	3.7	-
午後9時台	483	454	7	1	-	-	21	-
	100.0	94.0	1.4	0.2	-	-	4.3	-
午後10時台	183	162	8	2	1	1	9	-
	100.0	88.5	4.4	1.1	0.5	0.5	4.9	-
午後11時台	28	22	-	-	-	1	5	-
	100.0	78.6	-	-	-	3.6	17.9	-
午前0時以降	5	2	-	-	-	-	3	-
	100.0	40.0	-	-	-	-	60.0	-
不明	4	3	-	-	-	-	1	-
	100.0	75.0	-	-	-	-	25.0	-

(4) 一緒に朝食を食べる人

一緒に朝食を食べる人については、「家族全員で食べる」が19.1%、「家族のどれかと食べる」が74.3%とほとんどの人が家族と一緒に朝食を食べています。一方、「ひとりで食べる」とする人が6.2%となっています。

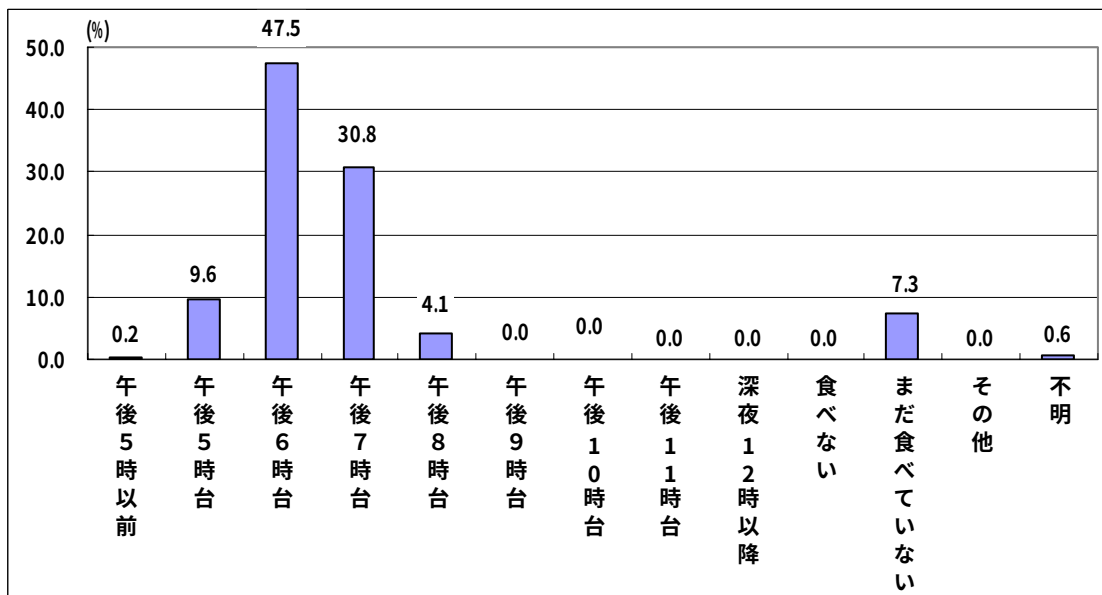
図表 55 一緒に朝食を食べる人 [N=1,015]



(5) 子どもの夕食時間

子どもの夕食時間についてきいたところ、「午後6時台」が47.5%と最も多く、次いで、「午後7時台」が30.8%と多くなっています。

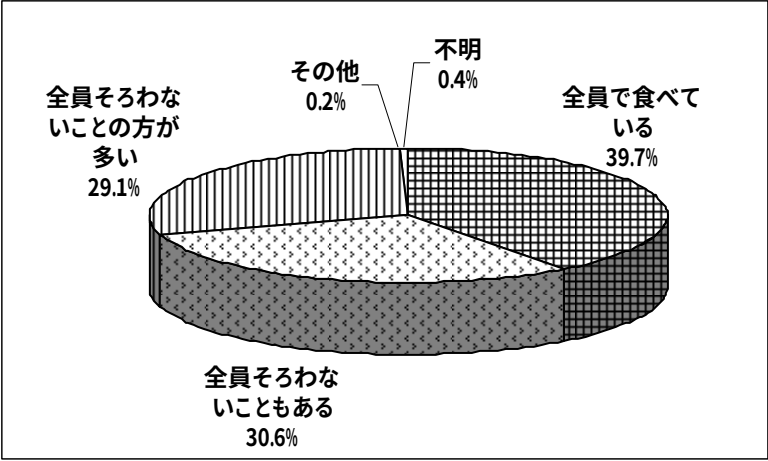
図表 56 夕食時間 [N=1,125]



(6) 夕食時の状況

夕食時の「孤食」の状況について、夕食時に、家にいる人「全員で食べている」が39.7%と最も多く、「全員そろわないこともある」が30.6%と続いています。一方、「全員そろわないことが多い」も29.1%となっています。

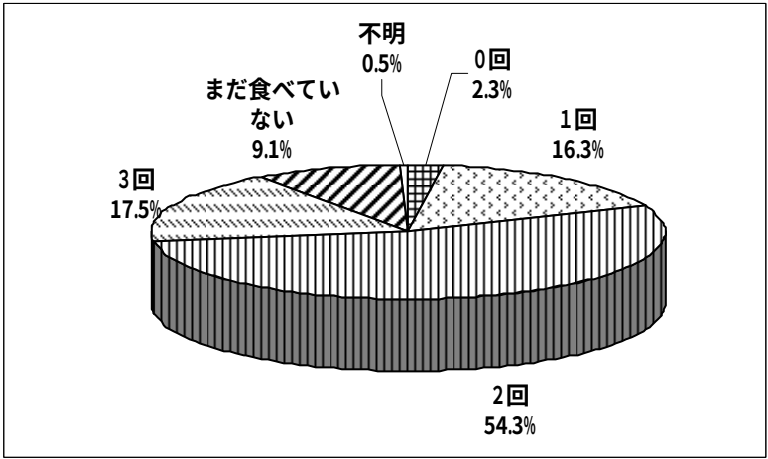
図表 57 夕食時に、家にいる人全員で食べているか [N=1,125]



(7) 主食・主菜・副菜がそろった食事

主食・主菜・副菜がそろった食事の1日あたりの頻度をきいたところ、「2回」という回答が最も多く、54.3%となっています。

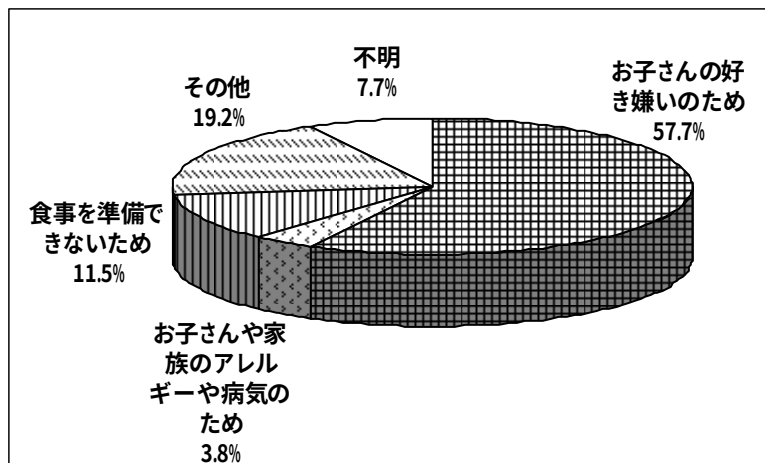
図表 58 主食・主菜・副菜がそろった食事の回数 [N=1,125]



(8) 主食・主菜・副菜がそろった食事を取らない理由

主食・主菜・副菜がそろった食事を取らない理由としては、「好き嫌いのため」という回答が57.7%と最も多く、次いで「食事を準備できないため」が11.5%となっています。

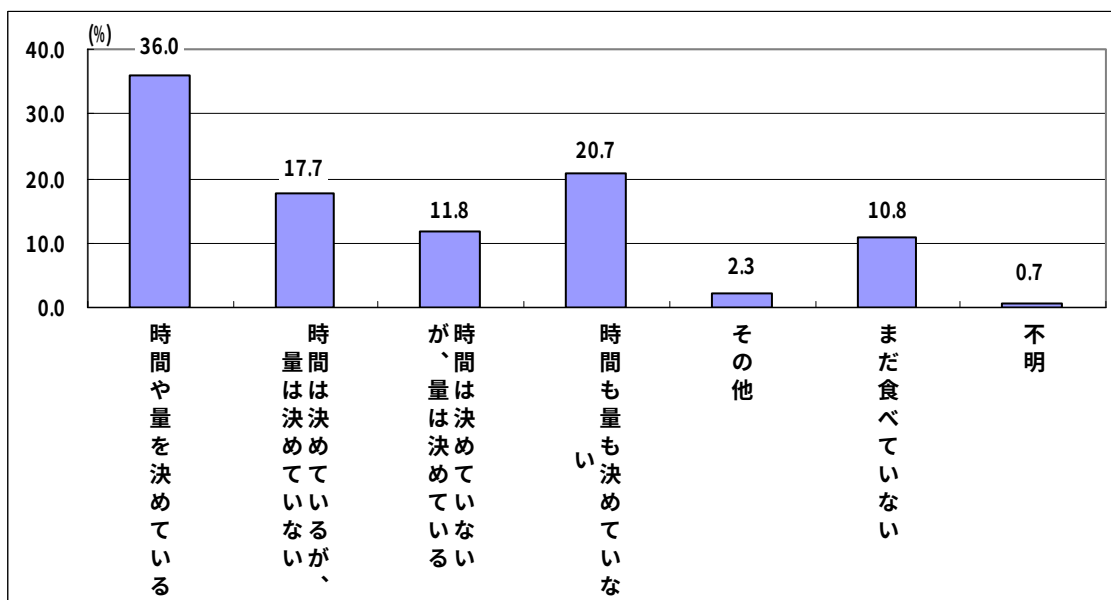
図表 59 主食・主菜・副菜がそろった食事を取らない理由 [N=26]



(9) おやつについて

子どものおやつの時間・量についてきいたところ、「時間や量を決めている」という回答が最も多く36.0%となっています。一方、「時間も量も決めていない」とする回答についても20.7%あります。

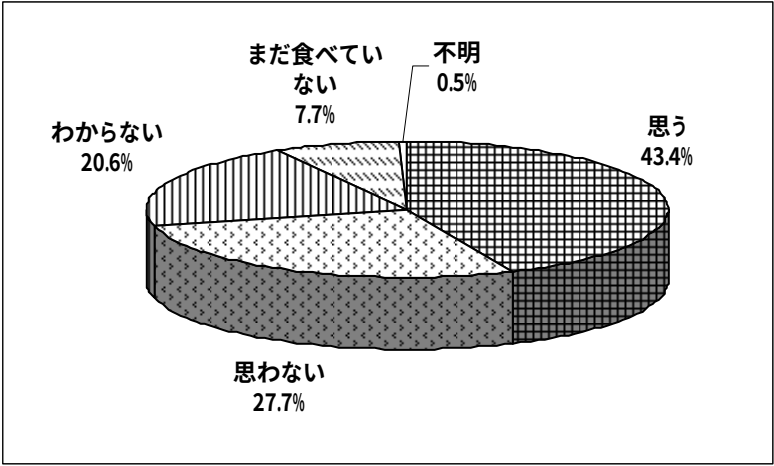
図表 60 おやつの時間や量は決まっているか [N=1,125]



(10) よく噛んで食べているか

子どもがよく噛んで食べているか否かについては、「そう思う」が43.4%となっており、「そう思わない」が27.7%、「わからない」が20.6%となっています。

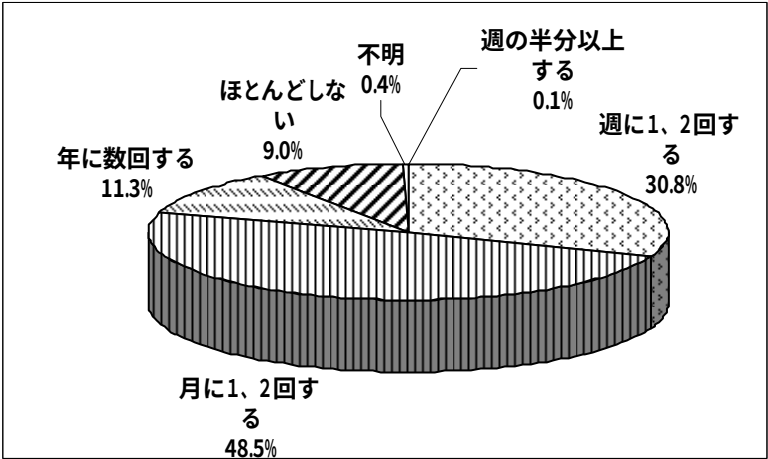
図表 61 よく噛んで食べているか [N=1,125]



(11) 外食の頻度

家族で外食する頻度については、「月に1、2回する」という回答が約半数の48.5%と最も多く、次いで、「週に1、2回する」が30.8%となっています。

図表 62 外食の頻度 [N=1,125]

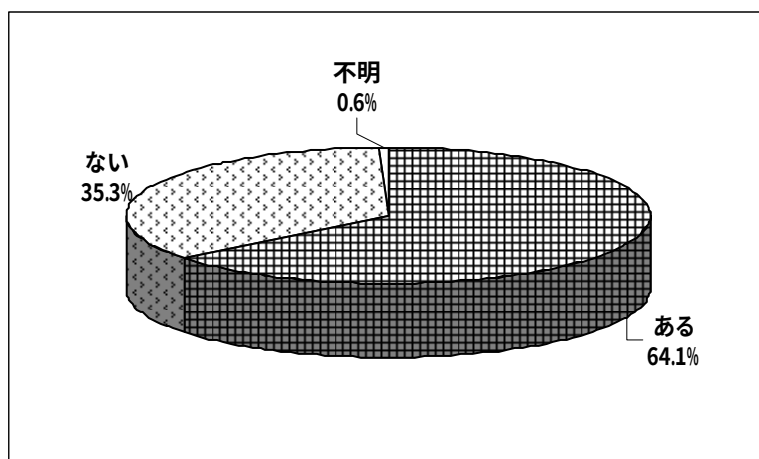


(12) 子どもの食事での困りごと

子どもの食事での困りごとについて、「ある」が64.1%、「ない」が35.3%と困りごとのある人が多くなっています。子どもの年齢別にみると、1歳以上になると、食事での困りごとが発生していることがわかります。

その内容としては、「遊び食い」が39.8%と最も多く、次いで、「偏食」が39.0%、「食べるのに時間がかかる」が38.6%と続いています。子どもの年齢別にみると、年齢が低いと、「遊び食い」や「よくかまない」等が上位にきています。一方、子どもの年齢が上がると、「偏食」や「時間がかかる」等が困りごととして多くを占めるようになります。

図表 63 子どもの食事での困りごとの有無 [N=1,125]



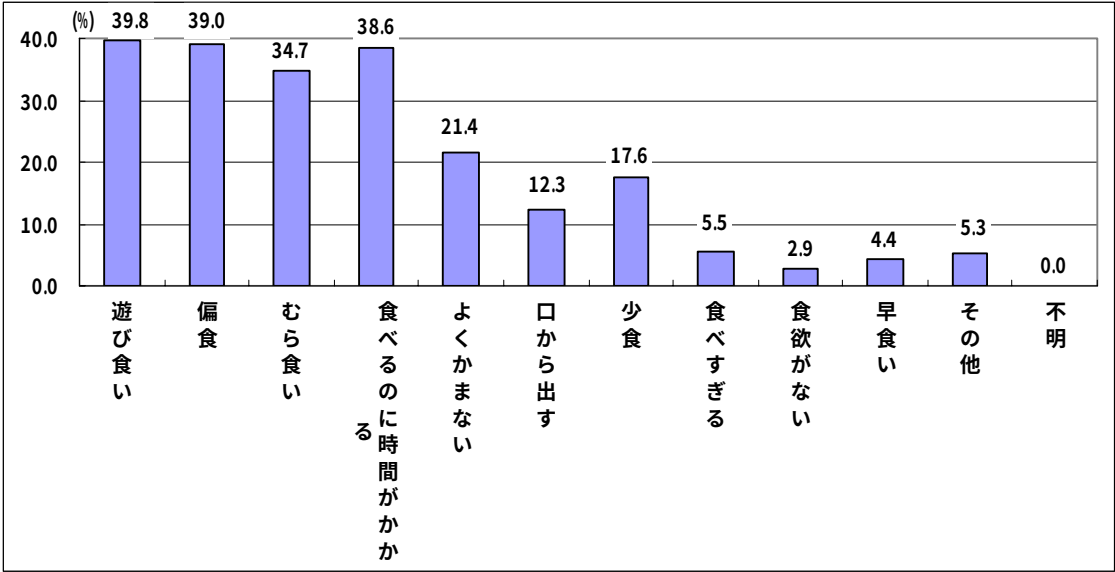
図表 64 子どもの年齢×子どもの食事での困りごとの有無 [N=1,125]

[単位：(上段) 件 / (下段) %]

	合計	ある	ない	不明
合計	1,125	721	397	7
	100.0	64.1	35.3	0.6
0歳	145	27	117	1
	100.0	18.6	80.7	0.7
1歳	206	149	54	3
	100.0	72.3	26.2	1.5
2歳	182	142	40	-
	100.0	78.0	22.0	-
3歳	165	124	41	-
	100.0	75.2	24.8	-
4歳	190	136	54	-
	100.0	71.6	28.4	-
5歳	198	122	75	1
	100.0	61.6	37.9	0.5
6歳	31	17	14	-
	100.0	54.8	45.2	-
不明	8	4	2	2
	100.0	50.0	25.0	25.0

第3章 幼年期

図表 65 子どもの食事での困りごとの内容 [N=721]（複数回答）



図表 66 子どもの年齢×子どもの食事での困りごとの内容 [N=721]（複数回答）

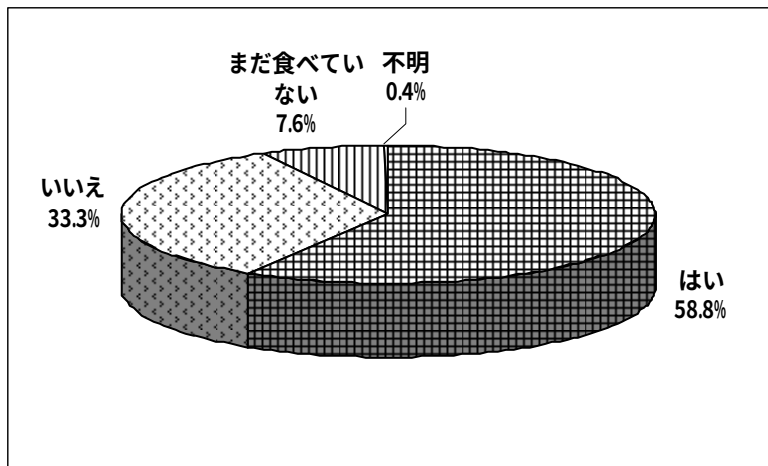
[単位：(上段) 件／(下段) %]

	合計	遊び食い	偏食	むら食い	食べるのに時間がかかる	よくかまない	口から出す	少食	食べすぎる	食欲がない	早食い	その他	不明
合計	721	287	281	250	278	154	89	127	40	21	32	38	-
	100.0	39.8	39.0	34.7	38.6	21.4	12.3	17.6	5.5	2.9	4.4	5.3	-
0歳	27	17	1	8	5	6	4	9	1	-	-	2	-
	100.0	63.0	3.7	29.6	18.5	22.2	14.8	33.3	3.7	-	-	7.4	-
1歳	149	81	43	65	20	58	43	20	10	6	14	8	-
	100.0	54.4	28.9	43.6	13.4	38.9	28.9	13.4	6.7	4.0	9.4	5.4	-
2歳	142	71	74	62	30	34	27	24	12	5	10	10	-
	100.0	50.0	52.1	43.7	21.1	23.9	19.0	16.9	8.5	3.5	7.0	7.0	-
3歳	124	53	51	49	58	19	9	17	5	2	4	8	-
	100.0	42.7	41.1	39.5	46.8	15.3	7.3	13.7	4.0	1.6	3.2	6.5	-
4歳	136	37	57	38	71	21	3	24	7	3	3	7	-
	100.0	27.2	41.9	27.9	52.2	15.4	2.2	17.6	5.1	2.2	2.2	5.1	-
5歳	122	25	47	26	81	13	2	28	5	5	1	3	-
	100.0	20.5	38.5	21.3	66.4	10.7	1.6	23.0	4.1	4.1	0.8	2.5	-
6歳	17	3	8	-	11	3	1	4	-	-	-	-	-
	100.0	17.6	47.1	-	64.7	17.6	5.9	23.5	-	-	-	-	-
不明	4	-	-	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	50.0	50.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-

(13) 食前の手洗い

子どもの食事前の手洗いについて、「はい（洗う）」が58.8%、「いいえ（洗わない）」が33.3%、「まだ食べていない」が7.6%となっています。

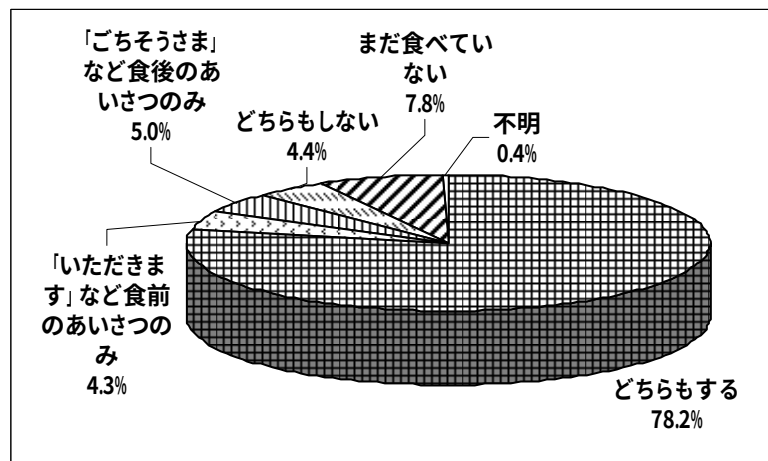
図表 67 食前に手洗いをするか [N=1,125]



(14) 食事の前後のあいさつ

食事の前後のあいさつについては、「(いただきます・ごちそうさま) どちらもする」が78.2%、「『ごちそうさま』など食後のあいさつのみ」が5.0%、「『いただきます』など食前のあいさつのみ」が4.3%、「どちらもしない」が4.4%となっています。

図表 68 食事の前後にあいさつをするか [N=1,125]

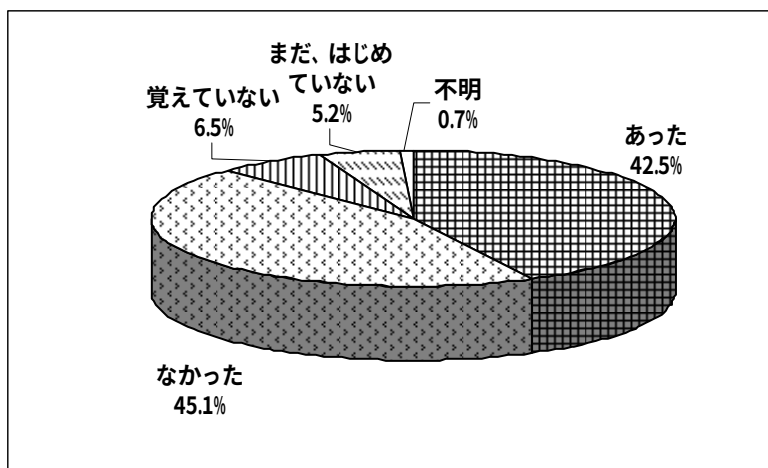


(15) 離乳食で困ったことの有無

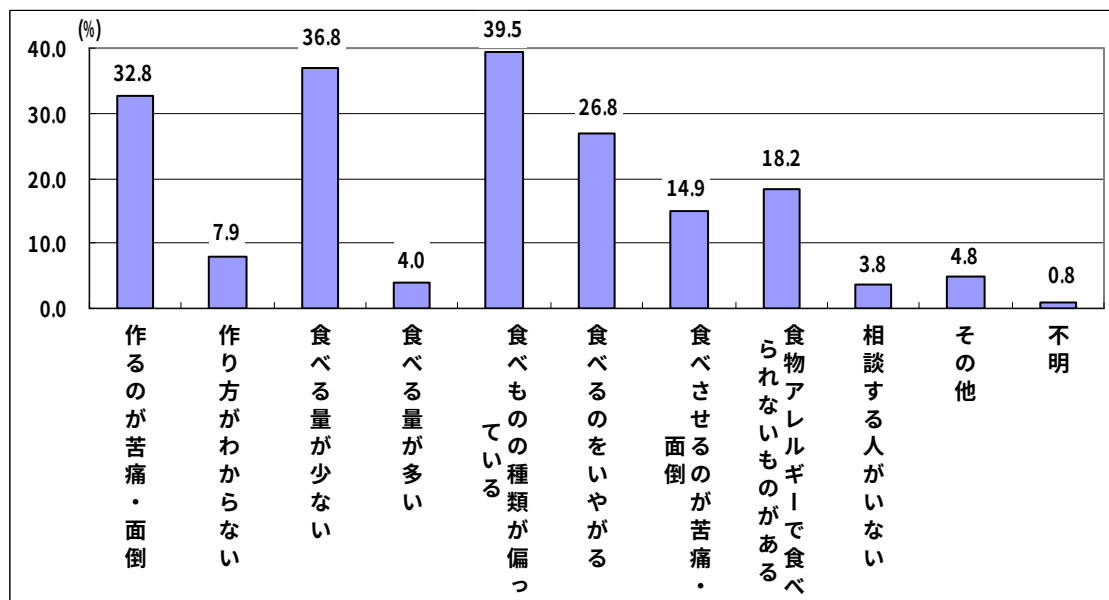
離乳食で困ったことの有無については、「あった」が42.5%、「なかった」が45.1%とほぼ同割合となっています。

困ったことの具体的な内容については、「食べるものの種類が偏っている」が39.5%で最も多く、次いで、「食べる量が少ない」が36.8%、「作るのが苦痛・面倒」が32.8%となっています。

図表 69 離乳食で困ったことの有無 [N=1,125]



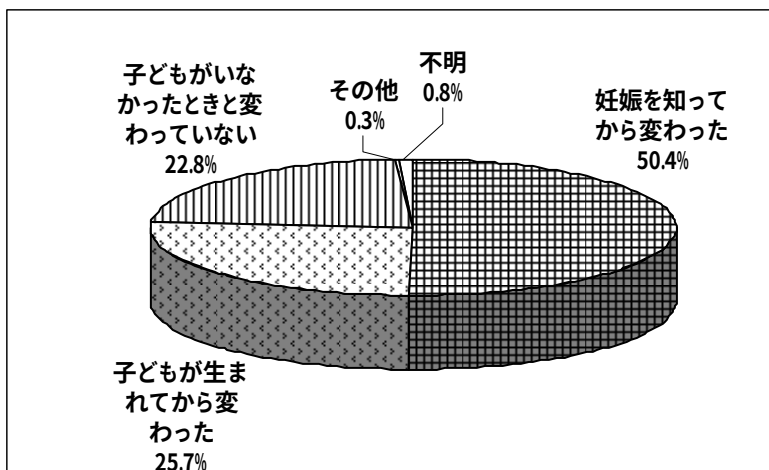
図表 70 離乳食で困ったことの内容 [N=478] (複数回答)



（16）妊娠をきっかけとする食への意識の変化

妊娠をきっかけとする食への意識の変化については、「妊娠を知ってから変わった」という回答が50.4%と最も多く、次いで、「子どもが生まれてから変わった」という回答が25.7%と続いています。

図表 71 妊娠をきっかけに食への意識が変わったか [N=1,125]



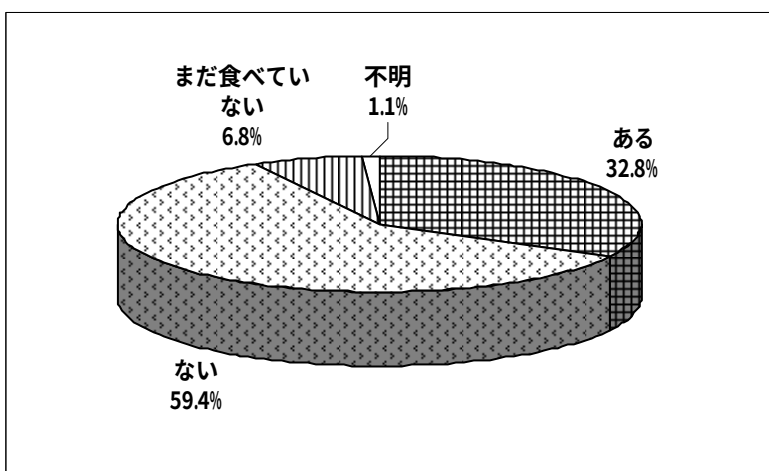
7. 子どものお口の健康について

（1）子どもの食べ方で気になること

子どもの食べ方で気になることについては、「ある」が32.8%、「ない」が59.4%となっています。

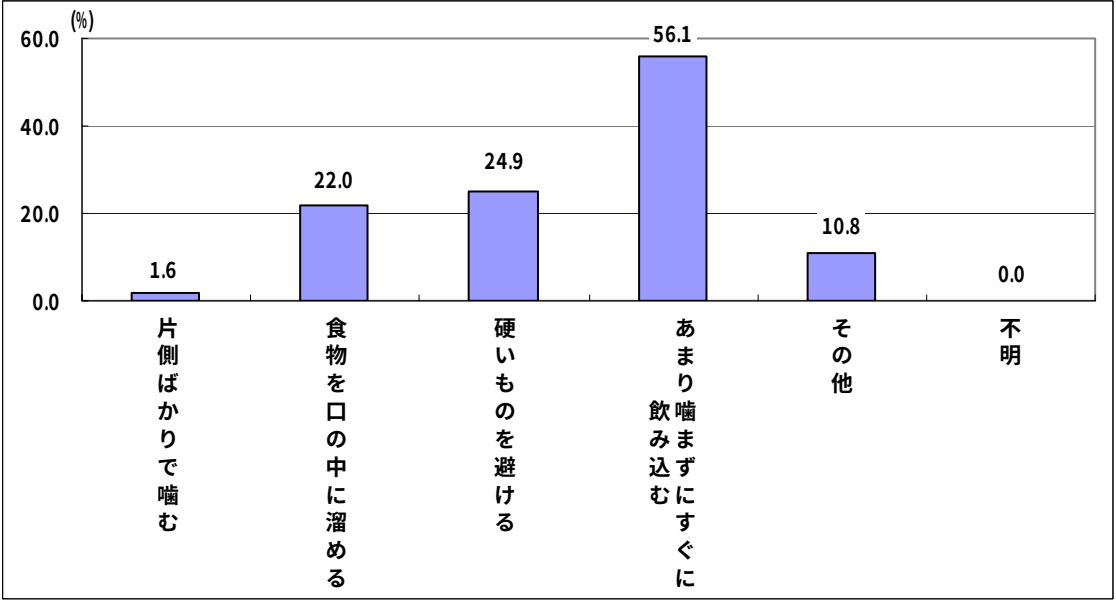
具体的な気になる内容としては、「あまり噛まずにすぐに飲み込む」が56.1%と圧倒的に多くなっています。子どもの年齢別にみると、0歳・1歳では特にこの傾向が強まります。

図表 72 食べ方で気になることがあるか [N=1,125]



第3章 幼年期

図表 73 食べ方で気になる内容 [N=369] (複数回答)



図表 74 子どもの年齢×食べ方で気になる内容 [N=369] (複数回答)

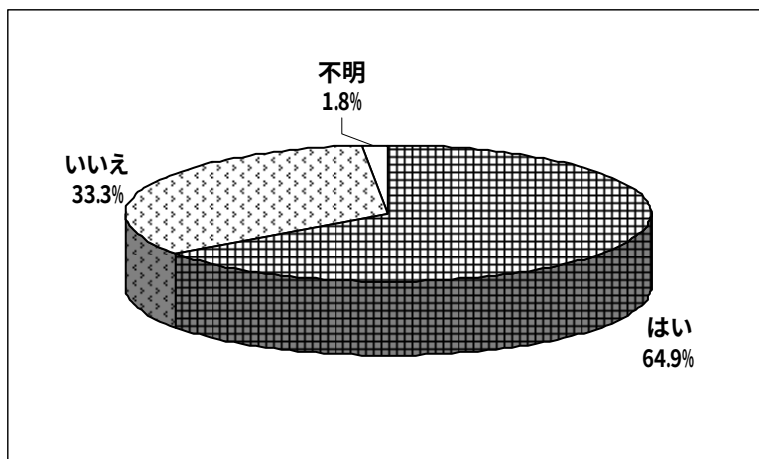
[単位：(上段) 件／(下段) %]							
	合計	片側ばかりで噛む	食物を口の中に溜める	硬いものを避ける	あまり飲み込まずにすぐに	その他	不明
合計	369	6	81	92	207	40	-
	100.0	1.6	22.0	24.9	56.1	10.8	-
0歳	12	-	-	2	9	2	-
	100.0	-	-	16.7	75.0	16.7	-
1歳	100	1	19	14	78	3	-
	100.0	1.0	19.0	14.0	78.0	3.0	-
2歳	74	1	19	20	43	8	-
	100.0	1.4	25.7	27.0	58.1	10.8	-
3歳	54	-	12	19	24	3	-
	100.0	-	22.2	35.2	44.4	5.6	-
4歳	65	-	18	19	27	12	-
	100.0	-	27.7	29.2	41.5	18.5	-
5歳	52	3	10	15	21	9	-
	100.0	5.8	19.2	28.8	40.4	17.3	-
6歳	11	1	2	3	5	3	-
	100.0	9.1	18.2	27.3	45.5	27.3	-
不明	1	-	1	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	-

(2) 噛む力に合わせた食事

噛む力に合わせた食事を心がけているか否かについては、「はい（心がけている）」が64.9%、「いいえ（心がけていない）」が33.3%となっています。

子どもの年齢別にみると、1歳児がいる家庭では、特に気をつけていることがわかります。

図表 75 子どもの噛む力に合わせた食事を心がけているか [N=1,125]



図表 76 子どもの年齢×子どもの噛む力に合わせた食事を心がけているか [N=1,125]

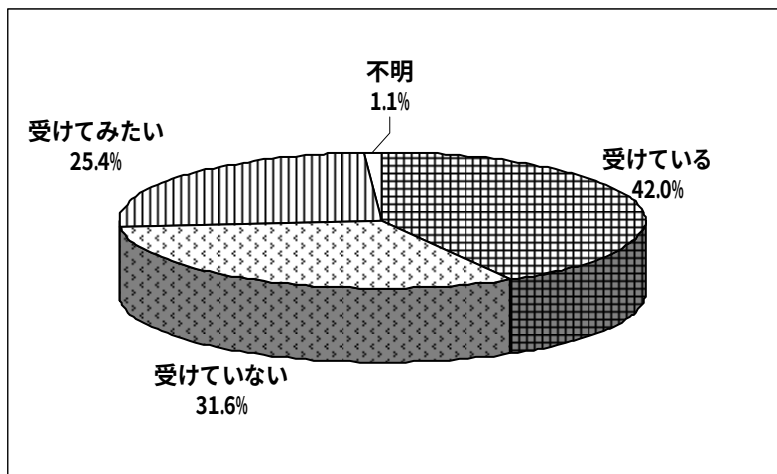
[単位：(上段) 件 / (下段) %]

	合計	はい	いいえ	不明
合計	1,125	730	375	20
	100.0	64.9	33.3	1.8
0歳	145	93	38	14
	100.0	64.1	26.2	9.7
1歳	206	172	33	1
	100.0	83.5	16.0	0.5
2歳	182	127	54	1
	100.0	69.8	29.7	0.5
3歳	165	101	63	1
	100.0	61.2	38.2	0.6
4歳	190	118	72	-
	100.0	62.1	37.9	-
5歳	198	102	95	1
	100.0	51.5	48.0	0.5
6歳	31	13	18	-
	100.0	41.9	58.1	-
不明	8	4	2	2
	100.0	50.0	25.0	25.0

(3) フッ化物塗布

子どものむし歯予防のためのフッ化物塗布については、「受けている」が42.0%となっています。また、「受けてみたい」という回答も25.4%みられます。

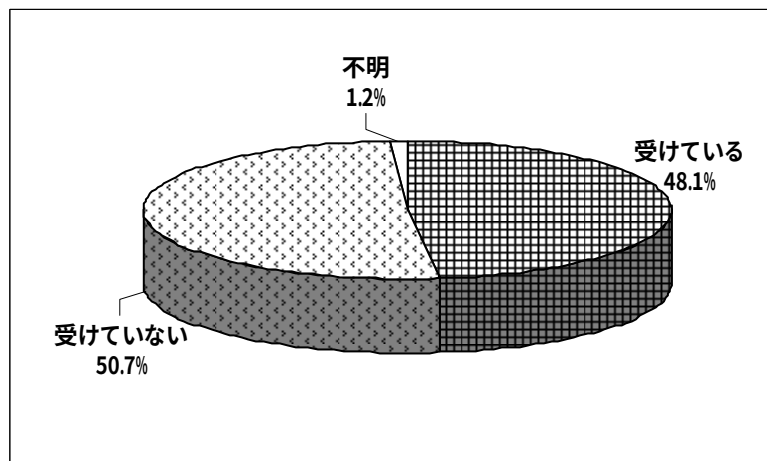
図表 77 フッ化物塗布 [N=1,125]



(4) 歯科健診

子どもの定期的な歯科健診の受診については、「受けていない」が50.7%、「受けている」が48.1%となっています。子どもの年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、健診を「受けている」割合が増加し、6歳児では83.9%の子どもが歯科健診を「受けている」と回答しています。

図表 78 定期的な歯科健診の受診状況 [N=1,125]



図表 79 子どもの年齢×歯科健診の状況 [N=1,125]

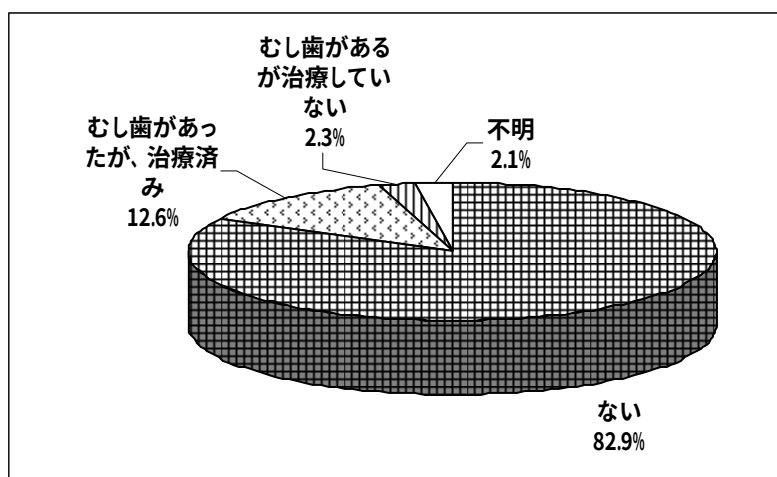
[単位：(上段) 件／(下段) %]

	合計	受けている	受けていない	不明
合計	1,125	541	570	14
	100.0	48.1	50.7	1.2
0歳	145	3	132	10
	100.0	2.1	91.0	6.9
1歳	206	52	154	-
	100.0	25.2	74.8	-
2歳	182	75	107	-
	100.0	41.2	58.8	-
3歳	165	90	75	-
	100.0	54.5	45.5	-
4歳	190	135	54	1
	100.0	71.1	28.4	0.5
5歳	198	156	41	1
	100.0	78.8	20.7	0.5
6歳	31	26	5	-
	100.0	83.9	16.1	-
不明	8	4	2	2
	100.0	50.0	25.0	25.0

(5) むし歯の有無

むし歯の有無については、「ない」という回答が82.9%、次いで「むし歯があったが、治療済み」が12.6%、「むし歯があるが治療していない」が2.3%となっています。子どもの年齢別にみると、年齢があがるにつれて「むし歯があったが、治療済み」という割合が増加しています。

図表 80 むし歯の有無 [N=1,125]



第3章 幼年期

図表 81 子どもの年齢×むし歯の有無 [N=1,125]

[単位：(上段) 件／(下段) %]

	合計	ない	むし歯があった が、治療済み	むし歯があるが 治療していない	不明
合計	1125	933	142	26	24
	100.0	82.9	12.6	2.3	2.1
0歳	145	130	-	1	14
	100.0	89.7	-	0.7	9.7
1歳	206	199	2	1	4
	100.0	96.6	1.0	0.5	1.9
2歳	182	173	6	1	2
	100.0	95.1	3.3	0.5	1.1
3歳	165	145	12	8	-
	100.0	87.9	7.3	4.8	-
4歳	190	143	34	11	2
	100.0	75.3	17.9	5.8	1.1
5歳	198	117	77	4	-
	100.0	59.1	38.9	2.0	-
6歳	31	21	10	-	-
	100.0	67.7	32.3	-	-
不明	8	5	1	-	2
	100.0	62.5	12.5	-	25.0